

神戸大学データ資料集2022

【抜粋版】



— データと資料が語る神戸大学の今の姿 —



目次 - 抜粋版 -

概要

1. 概要・ランキング … 1

教育

3. 学部一般選抜志願状況 … 3
 4. 入学状況 -学部- … 4
 5. 入学状況 -大学院- … 5
 7. 進路・就職状況 … 6

研究

10. 国際的な研究論文 … 10
 11. 科学研究費 … 12
 13. 研究プログラムの採択状況 … 13
 14. 研究業績に関する主な受賞 … 14

産学官連携

15. 産学官連携状況 … 15

国際

19. 留学 … 17
 20. 海外大学との交流状況 … 18
 21. 研究者等交流状況 … 19

教職員

27. 教員 … 20

財務

29. 財務 … 21

完全版はウェブサイトでご覧いただけます。

神戸大学 データ資料集

検索

表紙写真 : 社会科学系図書館
 表紙裏写真 : 先端膜工学研究拠点

1. 概要・ランキング

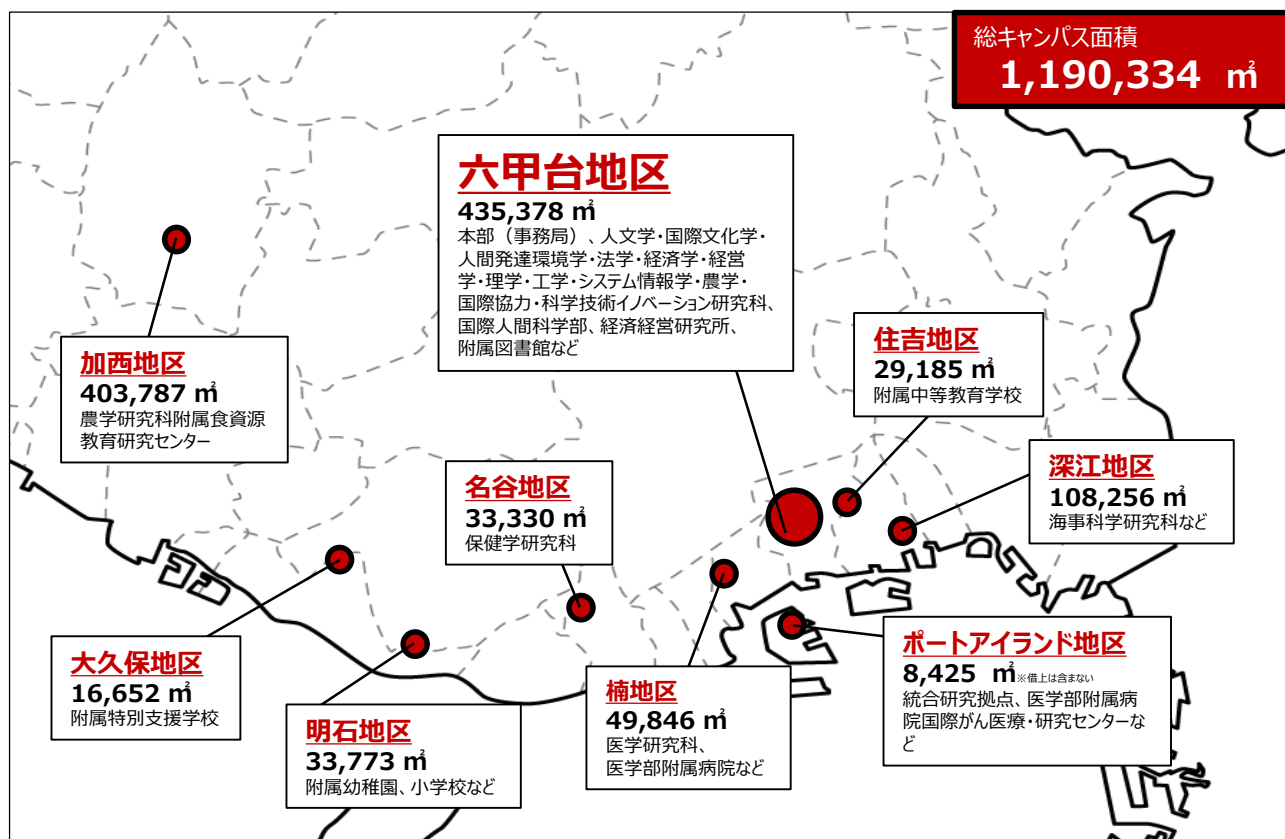
1-1 神戸大学の概要

2022年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (女子内数)		
学生等数	学部	2,670	2,736	10,639	11,425	(4,062)	
	大学院	修士課程・博士課程前期課程	1,258	1,201	2,512	2,570	(914)
		博士課程・博士課程後期課程	395	299	1,285	1,580	(542)
		専門職学位課程	149	139	378	294	(78)
	合計		4,472	4,375	14,814	15,869	(5,596)
	外国人留学生数		学部生 (内数)	大学院生 (内数)	研究生等	計	
		117	794	318	1,229	(612)	
附属学校		学級数		在籍者数 (※2)			
		45		1,296 [29]			
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教職員数 (※3)		1,547	111	2,487	4,145		
	女性教職員数	292	49	1,790	2,131		
	女性比率	18.9%	44.1%	72.0%	51.4%		
予算規模		2022年度 約760億円 (うち運営費交付金等 約206億円)					

※1：入学定員は編入学定員を含む。 ※2：在籍者数の[]は、帰国子女数を内数で示す。
 ※3：教職員数は休職者を含む。 ※4：教員数は役員を含む。

1-2 主要キャンパス



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス
 [海外] 神戸大学中国事務所 (北京)、神戸大学ブリュッセルオフィス

1-3 神戸大学の位置

◆大規模13大学間の比較◆

※国立大学間で学部入学定員の上位13大学を「大規模13大学」と定義する。

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,255	11
東京大学	3,060	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,554	12
神戸大学	2,530	10
北海道大学	2,485	12
東北大学	2,377	10
広島大学	2,337	12
千葉大学	2,317	10
新潟大学	2,233	10
岡山大学	2,195	11
名古屋大学	2,107	9
筑波大学	2,101	9

(2022)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	5,057	2,928	1,719	410	15
京都大学	3,747	2,302	1,111	334	18
大阪大学	3,086	2,083	923	80	15
九州大学	2,733	1,813	780	140	19
東北大学	2,689	1,801	768	120	15
筑波大学	2,508	1,831	611	66	7
名古屋大学	2,455	1,673	732	50	13
北海道大学	2,392	1,649	643	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
神戸大学	1,802	1,258	395	149	15
広島大学	1,620	1,115	455	50	4
千葉大学	1,287	958	269	60	7
岡山大学	1,125	785	271	69	8

(2022)

◆世界ランキングによる比較◆

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	23
2	京都大学	36
3	東京工業大学	55
4	大阪大学	68
5	東北大学	79
6	名古屋大学	112
7	九州大学	135
8	北海道大学	141
9	慶應義塾大学	197
10	早稲田大学	205
11	筑波大学	312
12	広島大学	338
13	神戸大学	363
14	東京医科歯科大学	392
15	千葉大学	490

(2022-2023)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	11
2	京都大学	16
3	東京工業大学	20
4	大阪大学	21
5	東北大学	22
6	名古屋大学	28
7	北海道大学	29
8	九州大学	31
9	早稲田大学	41
10	慶應義塾大学	45
11	筑波大学	54
12	神戸大学	73
13	広島大学	87
14	一橋大学	111
15	立命館大学	126

(2022-2023)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	24
2	京都大学	41
3	名古屋大学	101-150
4	大阪大学	151-200
	東北大学	
5	東京工業大学	201-300
7	北海道大学	
	筑波大学	
9	慶應義塾大学	301-400
	九州大学	
11	広島大学	401-500
	神戸大学	
	岡山大学	
14	千葉大学	601-700
	順天堂大学	
	北里大学	
	東京医科歯科大学	
	東京理科大学	
	早稲田大学	

(2022)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	39
2	京都大学	68
3	東北大学	201-250
4	大阪大学	251-300
5	名古屋大学	301-350
	東京工業大学	
7	北海道大学	501-600
	九州大学	
	東京医科歯科大学	
	筑波大学	
11	関西医科大学	601-800
	産業医科大学	
	横浜市立大学	
14	会津大学	801-1000
	藤田医科大学	
	広島大学	
	順天堂大学	
	慶應義塾大学	
	近畿大学	
	神戸大学	
	久留米大学	
	日本医科大学	
	千葉大学	
	浜松医科大学	
	兵庫医科大学	

(2022-2023)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	6
2	京都大学	12
3	東北大学	31
4	東京工業大学	49
5	名古屋大学	50
6	大阪大学	53
7	産業医科大学	83
8	横浜市立大学	94
9	九州大学	101
10	筑波大学	103
11	東京医科歯科大学	108
12	北海道大学	119
13	関西医科大学	142
14	神戸大学	182
15	東京都立大学	192
16	会津大学	194
	慶應義塾大学	
	日本医科大学	

(2022)

出典:各発表機関ウェブサイト

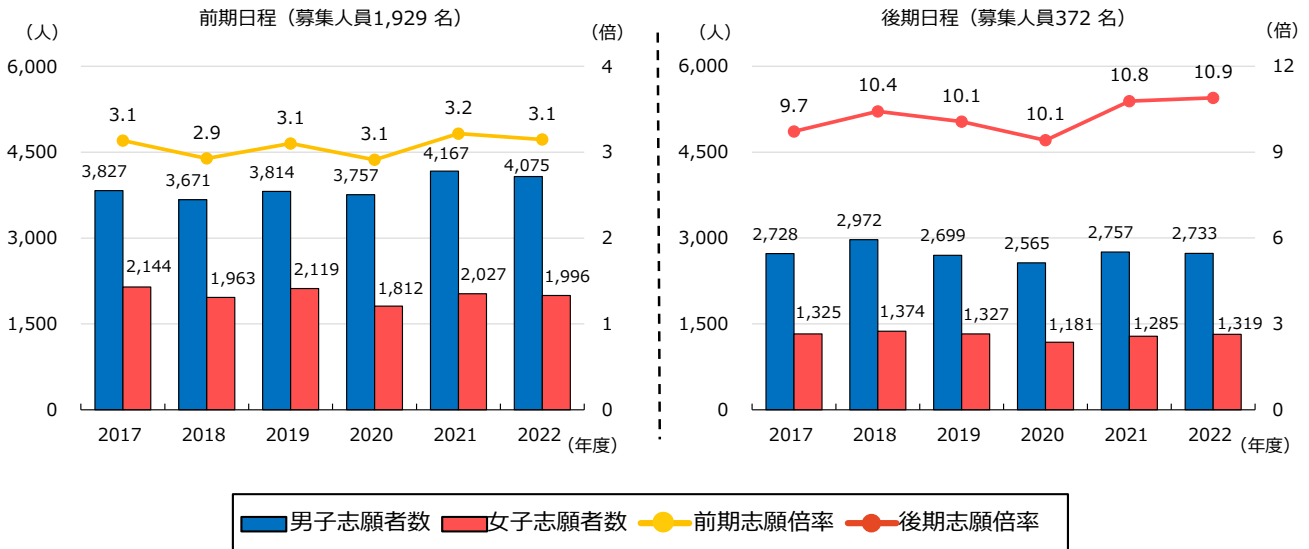
※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。

(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

3. 学部一般選抜志願状況

3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 前期日程は3倍程度、後期日程は10倍程度の志願倍率で推移しているが、2022年度はいずれもその水準を上回る倍率となった。
- 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。



※各日程の募集人員は2022年度の数値を記載している。その他の各年度の募集人員は以下のとおり。

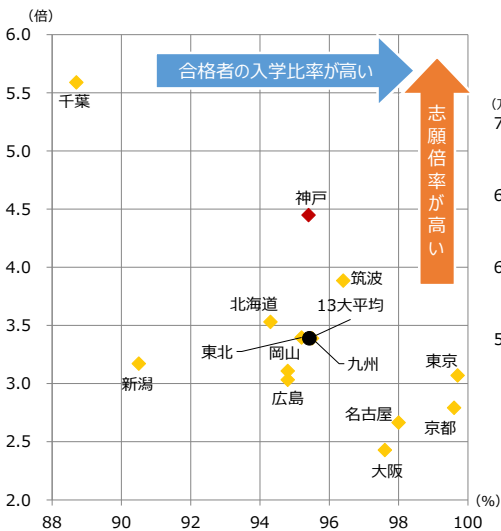
2017 前期：1,905名 後期：417名 2019 前期：1,913名 後期：400名 2021 前期：1,926名 後期：375名
 2018 前期：1,925名 後期：417名 2020 前期：1,913名 後期：398名

3-3 全国の大学の志願状況及び入学定員

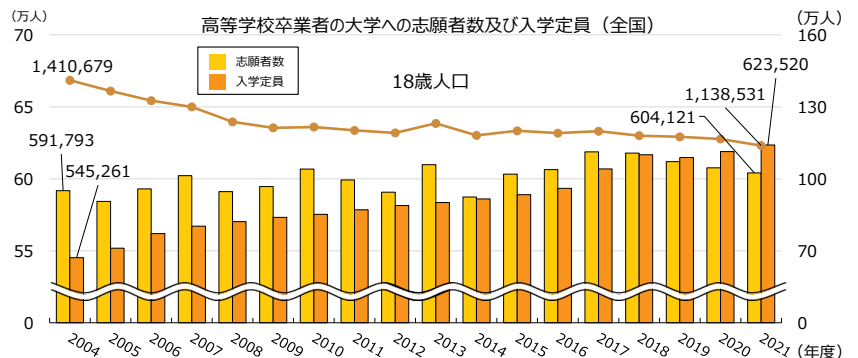
◆大規模13大学の状況（2021年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	新潟	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	九州	13大学平均
募集人員	2,442人	1,693人	1,469人	2,069人	2,960人	1,631人	1,739人	2,658人	2,878人	2,301人	1,666人	2,015人	2,251人	2,136人
志願者数	8,621人	5,750人	5,709人	11,565人	9,089人	5,173人	4,635人	7,424人	6,991人	10,236人	5,180人	6,111人	7,629人	7,239人
志願倍率	3.5	3.4	3.9	5.6	3.1	3.2	2.7	2.8	2.4	4.4	3.1	3.0	3.4	3.4
合格者の入学率	94.3%	95.2%	96.4%	88.7%	99.7%	90.5%	98.0%	99.6%	97.6%	95.4%	94.8%	94.8%	95.5%	95.4%

出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：令和3年度国立大学入学選抜確定志願状況，文部科学省HP
 出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2023（※筑波大学はHPの入試結果より算出）



◆全国の大学志願者数および入学定員（推移）



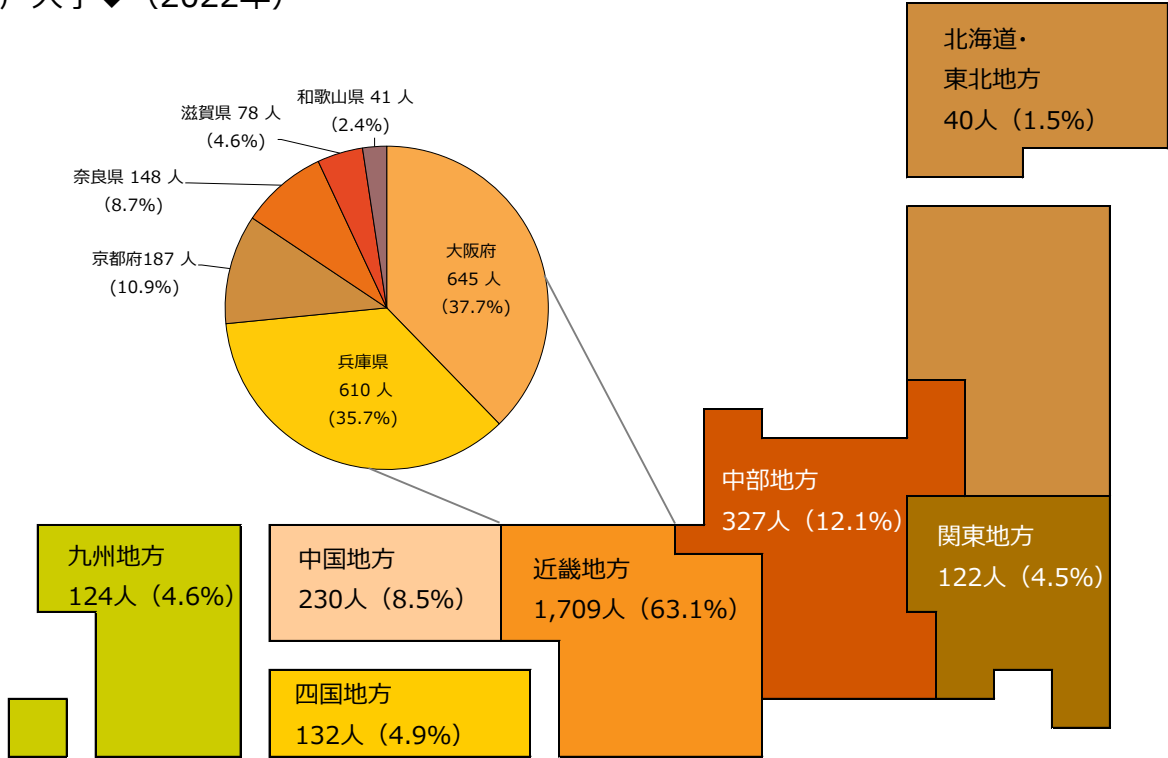
※18歳人口：3年前の中学校卒業生及び中学校前期課程修了者より推定
 出典：（志願者数）文部科学省 学校基本調査（入学定員）全国大学一覧

4. 入学状況 - 学部 -

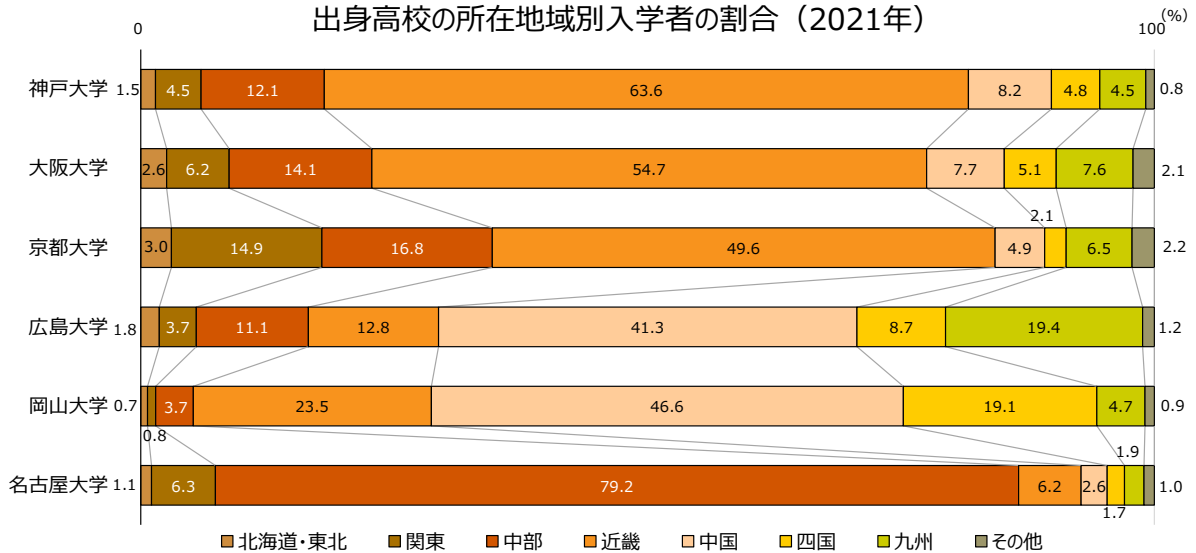
4-1 出身高校の所在地別入学者状況

○ 神戸大学では入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めており、うち7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

◆神戸大学◆ (2022年)



出身高校の所在地域別入学者の割合 (2021年)



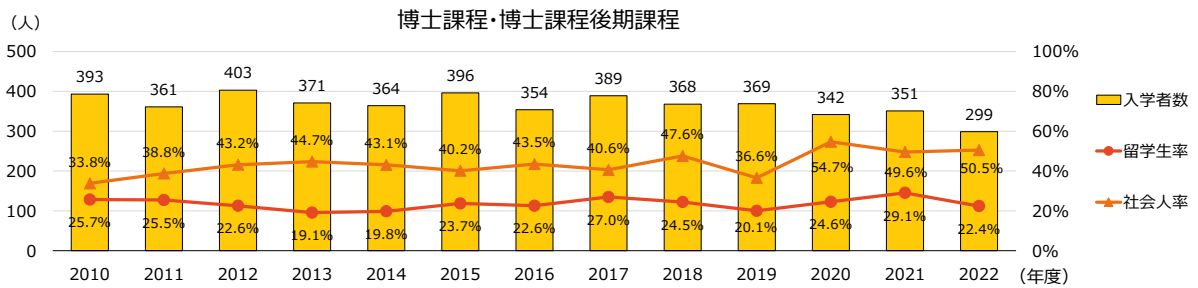
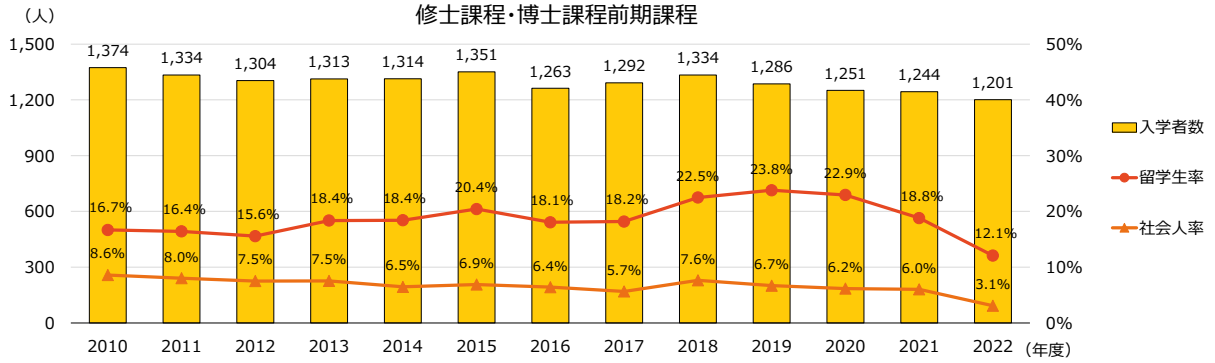
- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地別入学者数」
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

5. 入学状況 — 大学院 —

5-1 大学院入学状況

◆神戸大学◆ ※2010～2021年度は春入学者及び秋入学者、2022年度は春入学者のみを計上している。

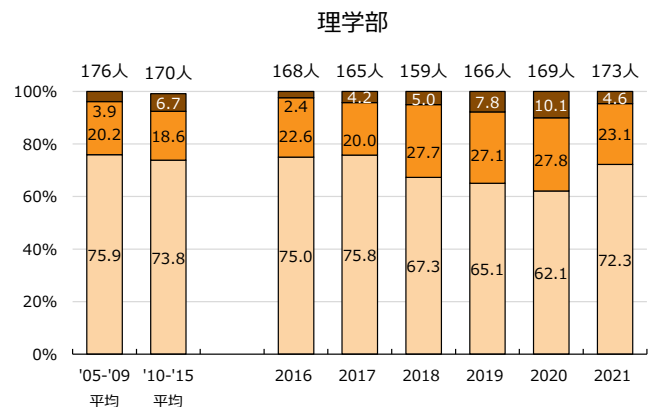
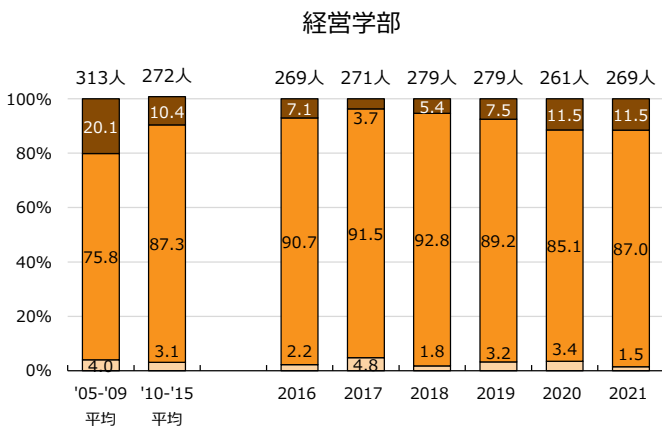
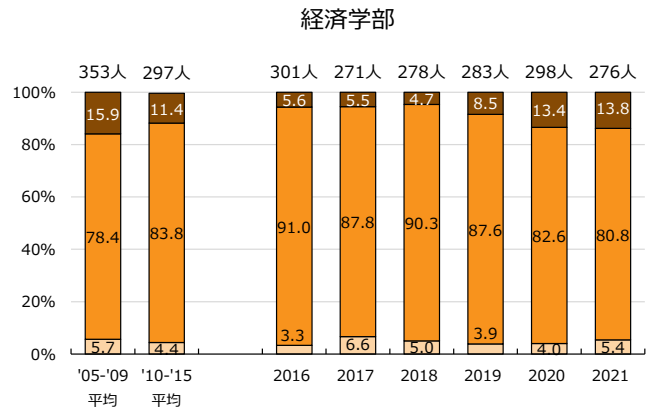
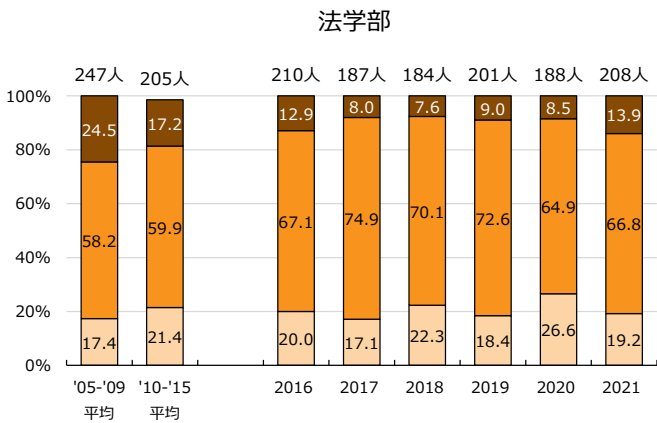
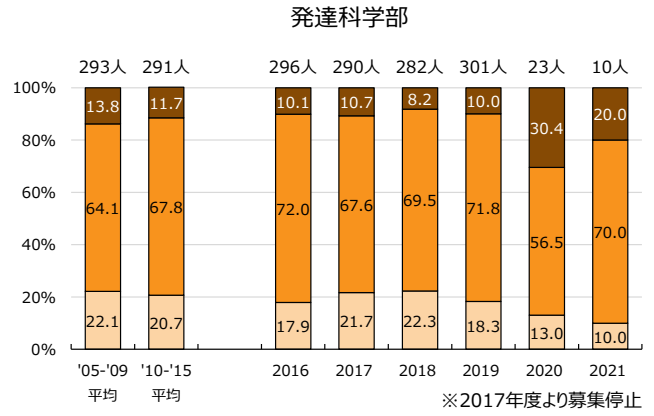
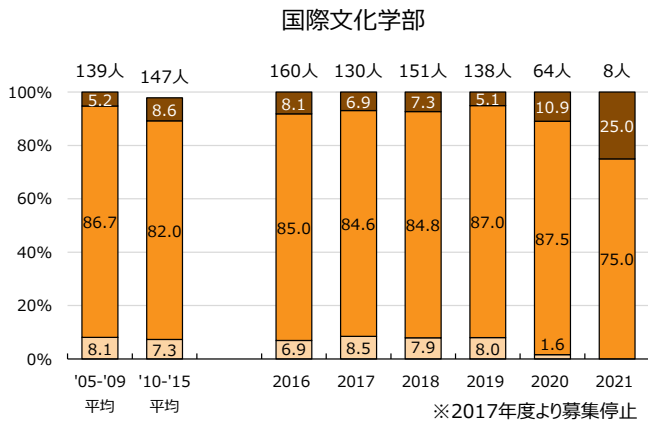
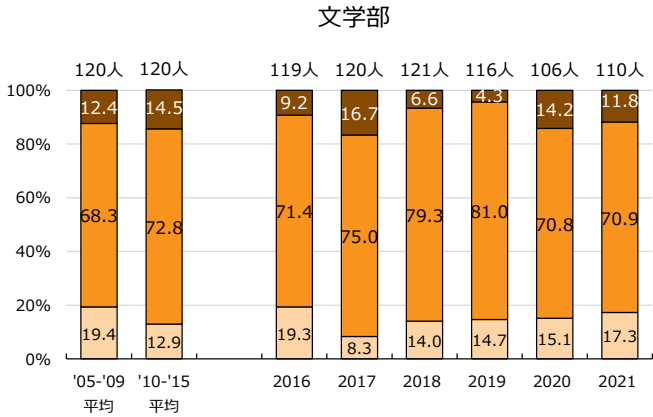


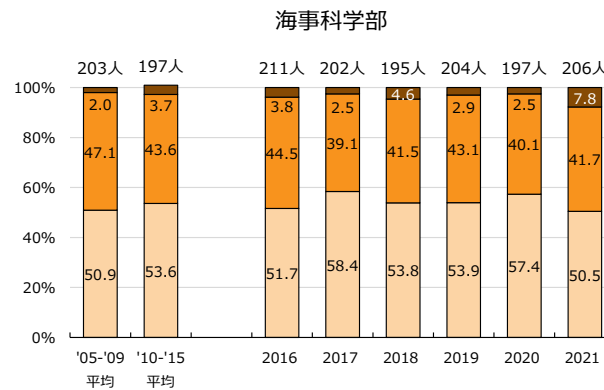
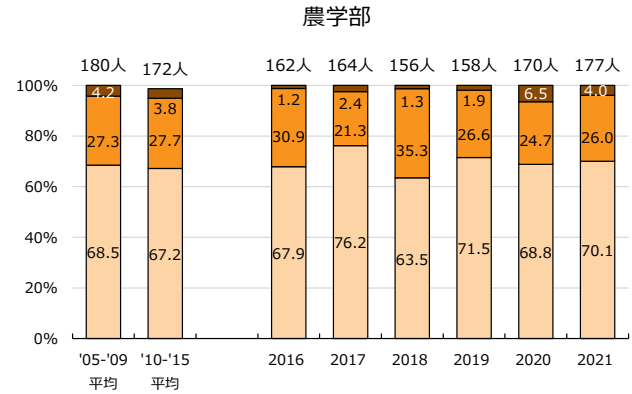
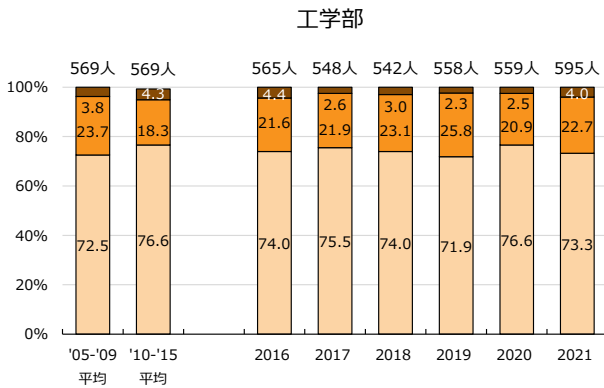
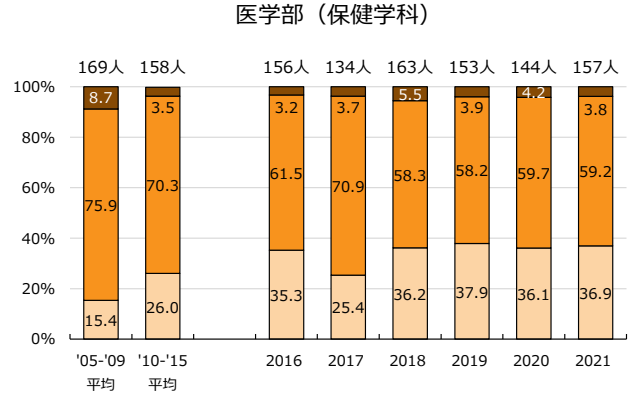
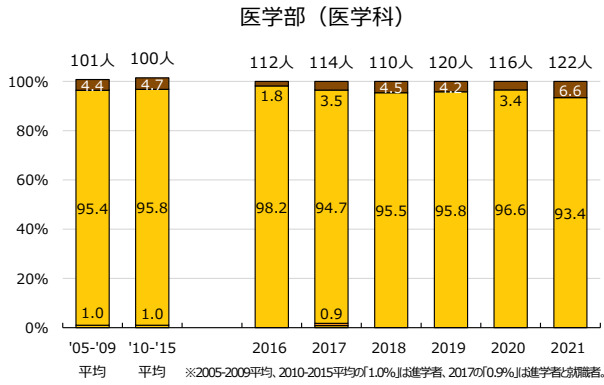
7. 進路・就職状況

7-2 学士課程卒業生の学部別進路・就職状況

◆神戸大学◆（学士課程 卒業年度）

進学者 就職者 臨床研修医 その他

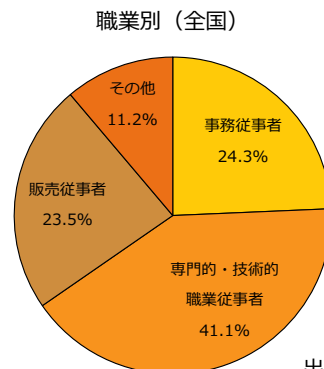
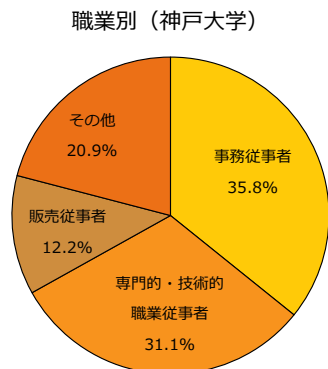
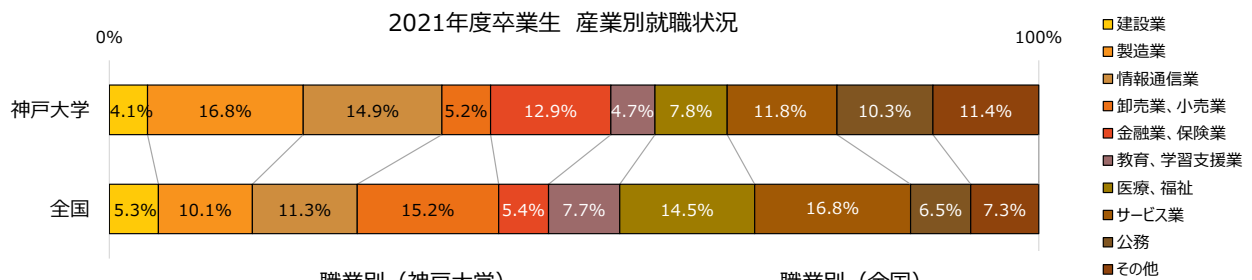




※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-3 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「製造業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」、「公務」に就職している割合が高い。



出典：文部科学省 学校基本調査

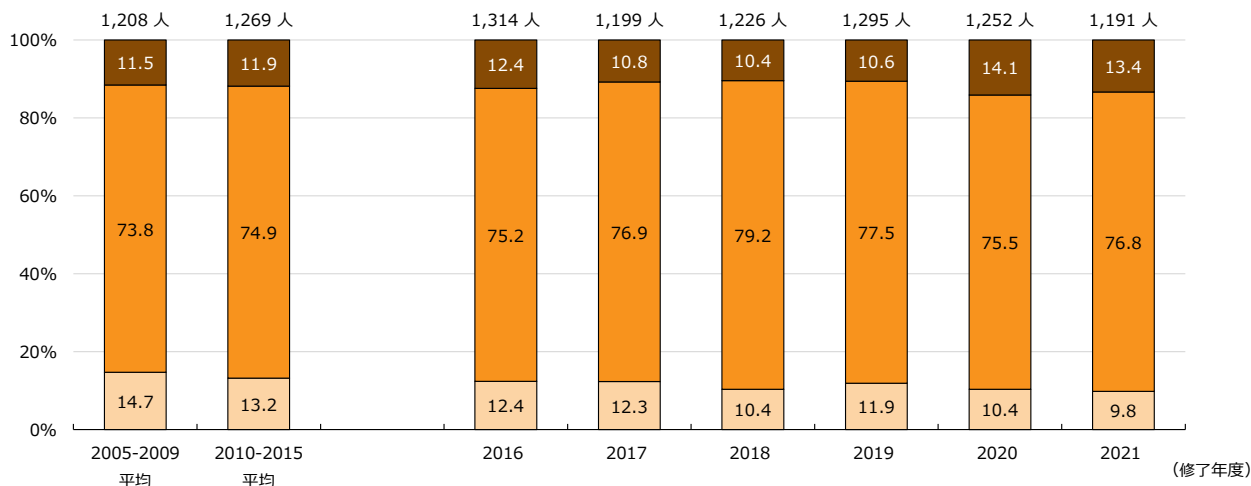
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

進学者
 就職者
 その他

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「臨床研修医」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

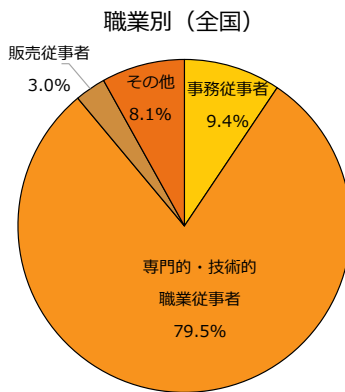
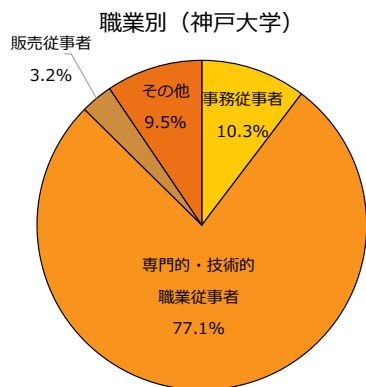
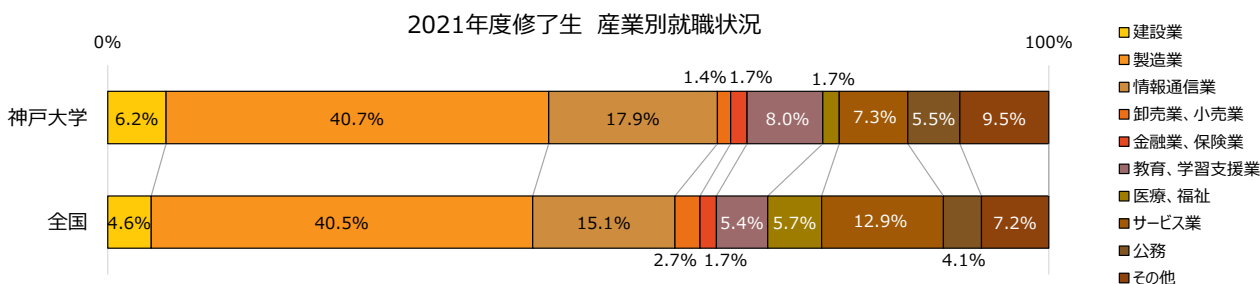
神戸大学



※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

7-6 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

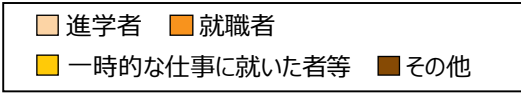
○ 産業別、職業別ともに概ね全国と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査

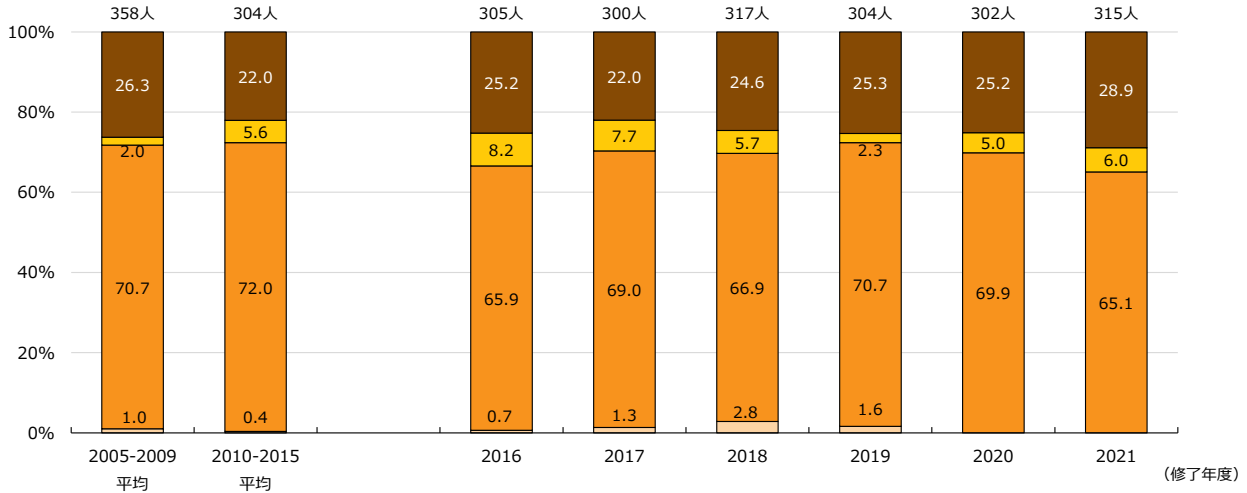
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-7 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況



※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「一時的な仕事に就いた者等」には「臨床研修医」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

神戸大学

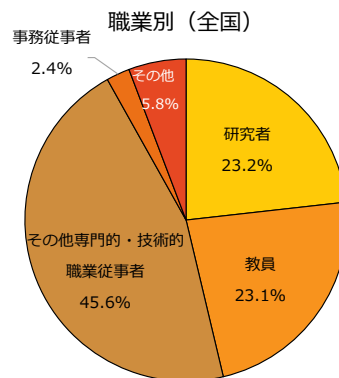
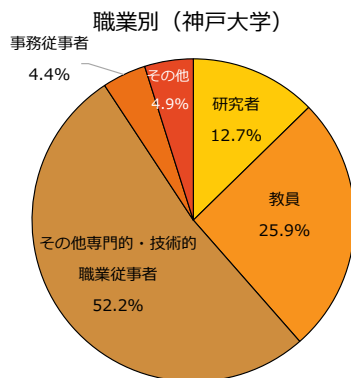
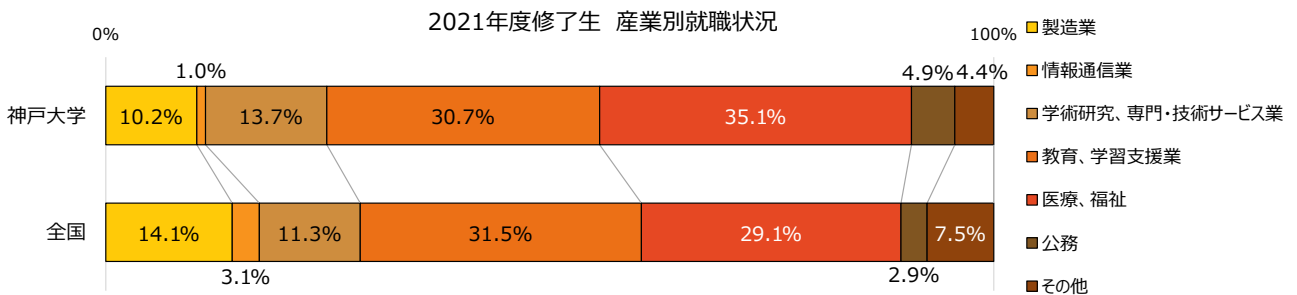


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても計上。

7-9

博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「医療、福祉」の割合が多く、職業別では「研究者」の割合が少ない傾向にある。



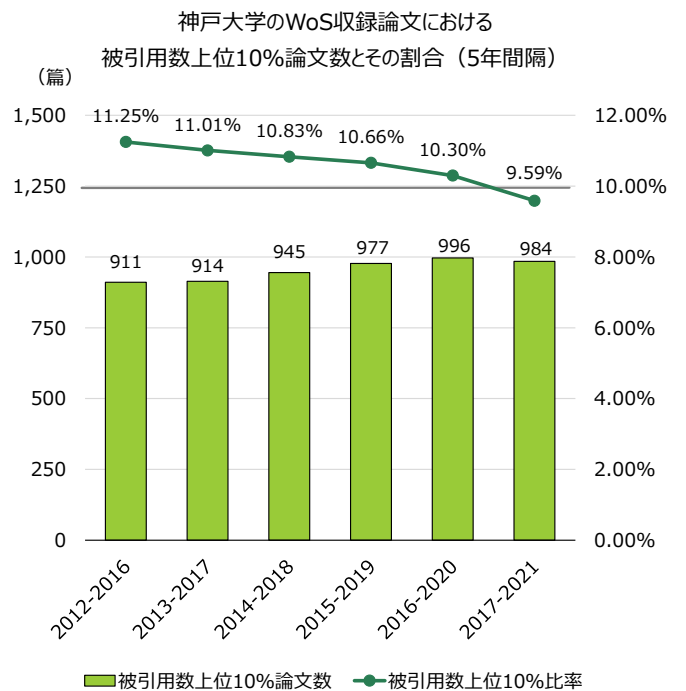
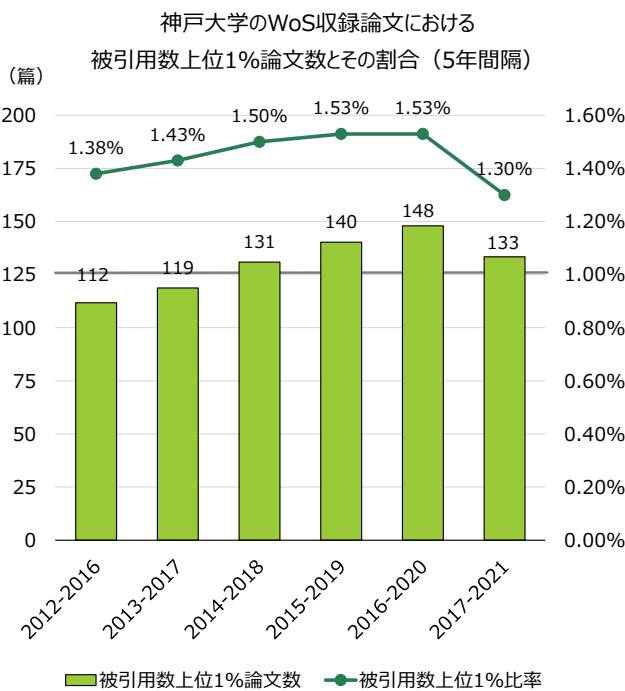
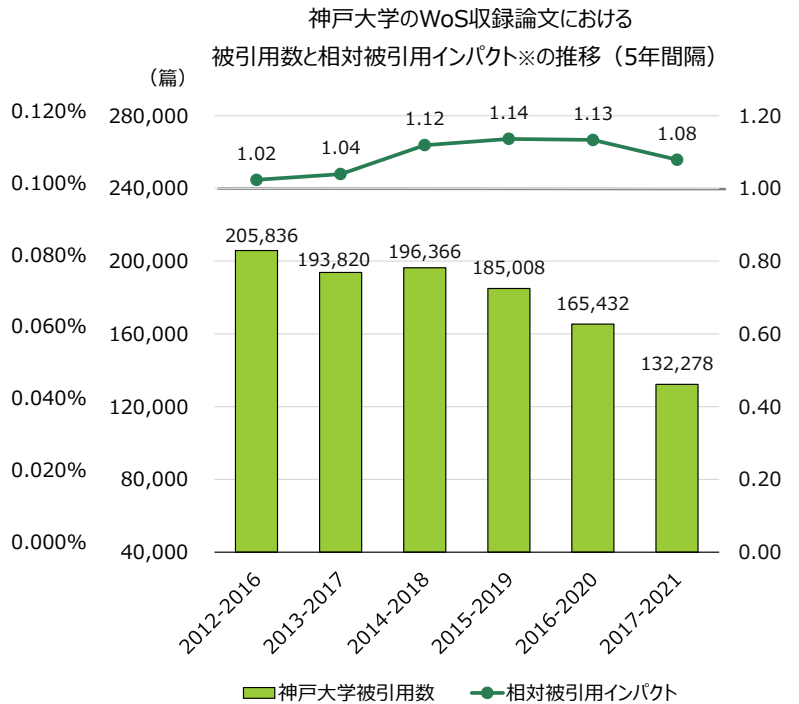
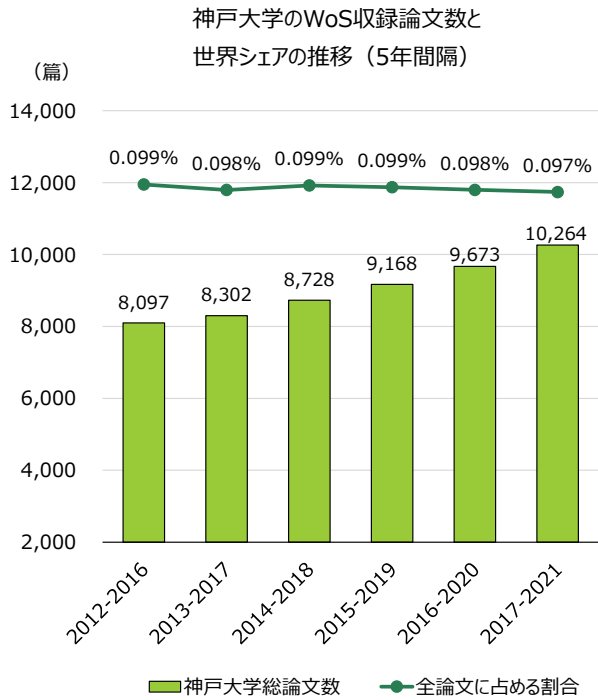
出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

10. 国際的な研究論文

10-2 論文の量と質についての比較 — 推移 —

- 総論文数は増加傾向にあり、世界シェアは0.1%程度を維持している。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数及び上位10%論文数はこれまで増加傾向であったものの、最新のデータでは若干停滞している。

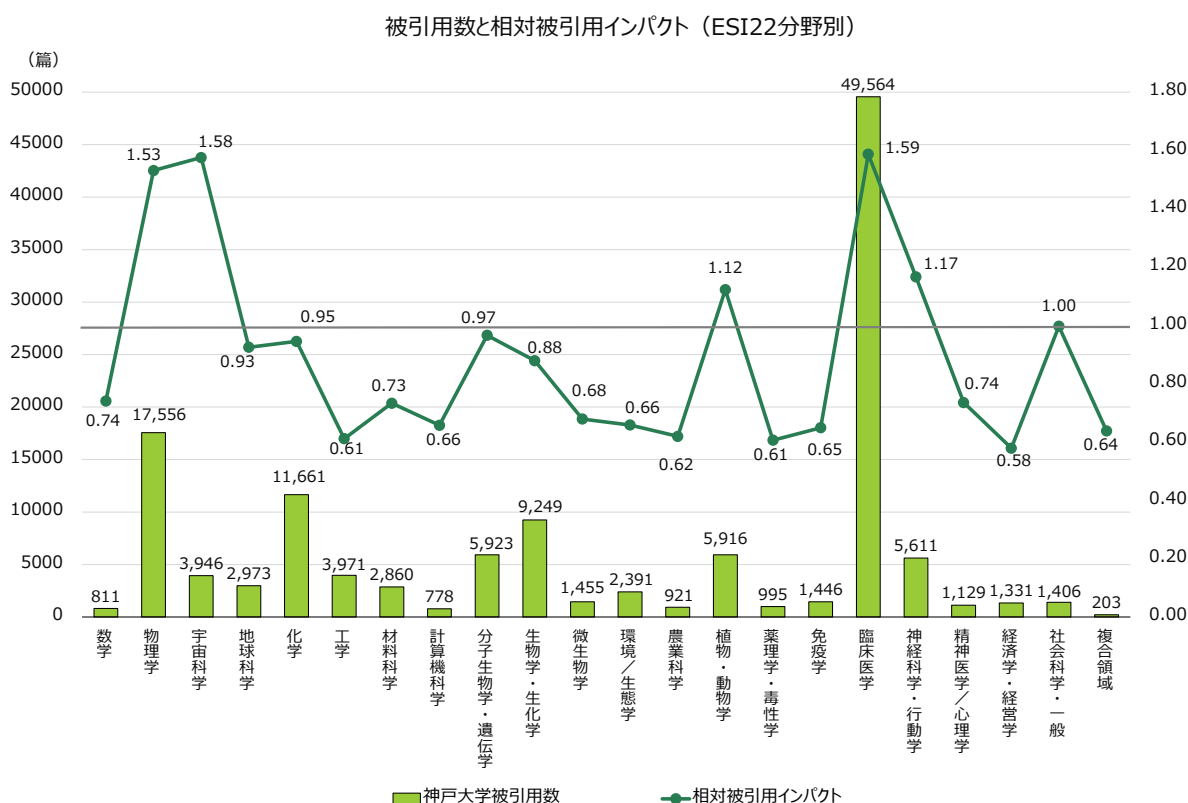
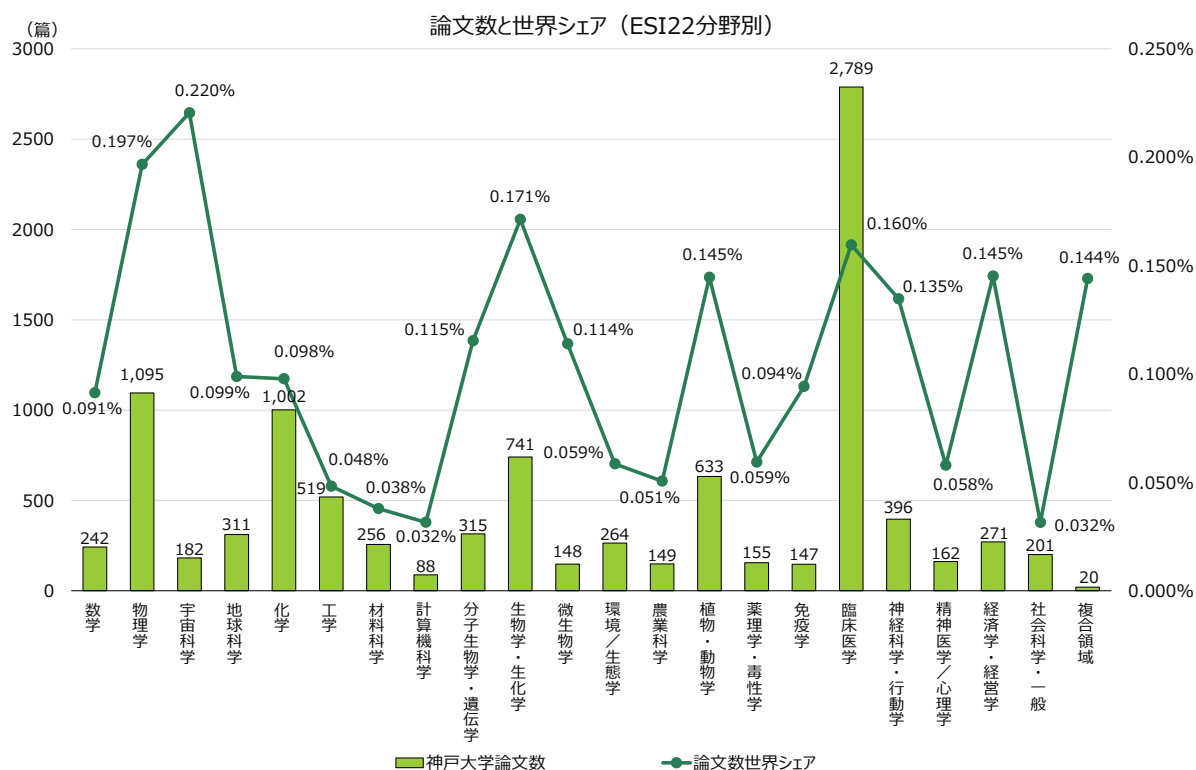


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2023年1月5日現在の数値である。

※相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

10-3 論文の量と質についての比較 – ESI22分野別 –

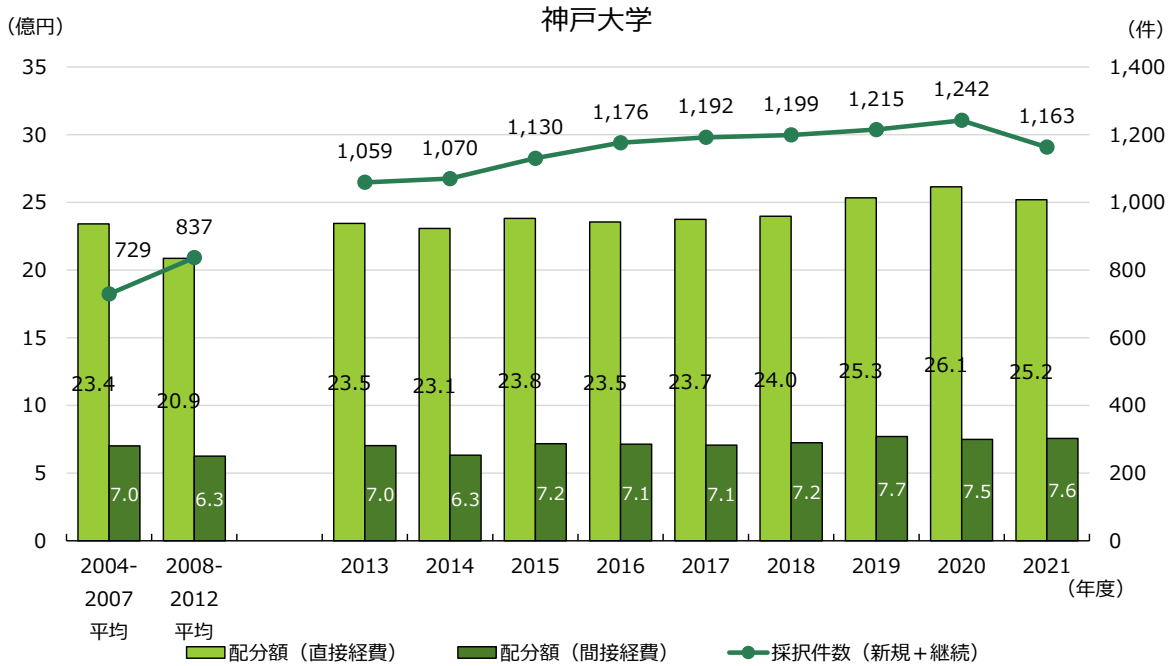
- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果である。
- 相対被引用インパクトが世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が多く生み出されていることを示している。



※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2017～2021年の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2023年1月5日現在の数値である。

11. 科学研究費

11-3 科学研究費助成事業採択状況 — 推移 —



※2015年度より「国際共同研究加速基金」を含む。

11-7 2018-2022年度科学研究費助成事業新規採択状況

大区分	(研究分野)	中区分数	中区分別採択数上位10機関に本学がランクインしている中区分名	順位	新規採択件数 (件)	配分額 (直接経費) (千円)
A	(人文学・社会科学)	10	法学およびその関連分野	8	49.0	84,900
			政治学およびその関連分野	8	28.7	53,733
			経済学、経営学およびその関連分野	3	149.0	277,200
C	(工学系科学)	8	土木工学およびその関連分野	9	29.0	89,700
			建築学およびその関連分野	10	26.0	54,800
			航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	9	20.0	63,500
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	8	17.0	52,000
D		7	化学工学およびその関連分野	9	34.0	154,700
			応用物理学およびその関連分野	10	12.0	96,300
F	(農学・環境学)	5	生産環境農学およびその関連分野	8	33.0	102,600
			社会経済農学、農業工学およびその関連分野	6	29.0	91,600
H		3	生体の構造と機能およびその関連分野	10	27.0	65,300
I	(医歯薬学)	11	内科学一般およびその関連分野	8	113.0	170,300
			生体情報内科学およびその関連分野	10	59.0	112,700

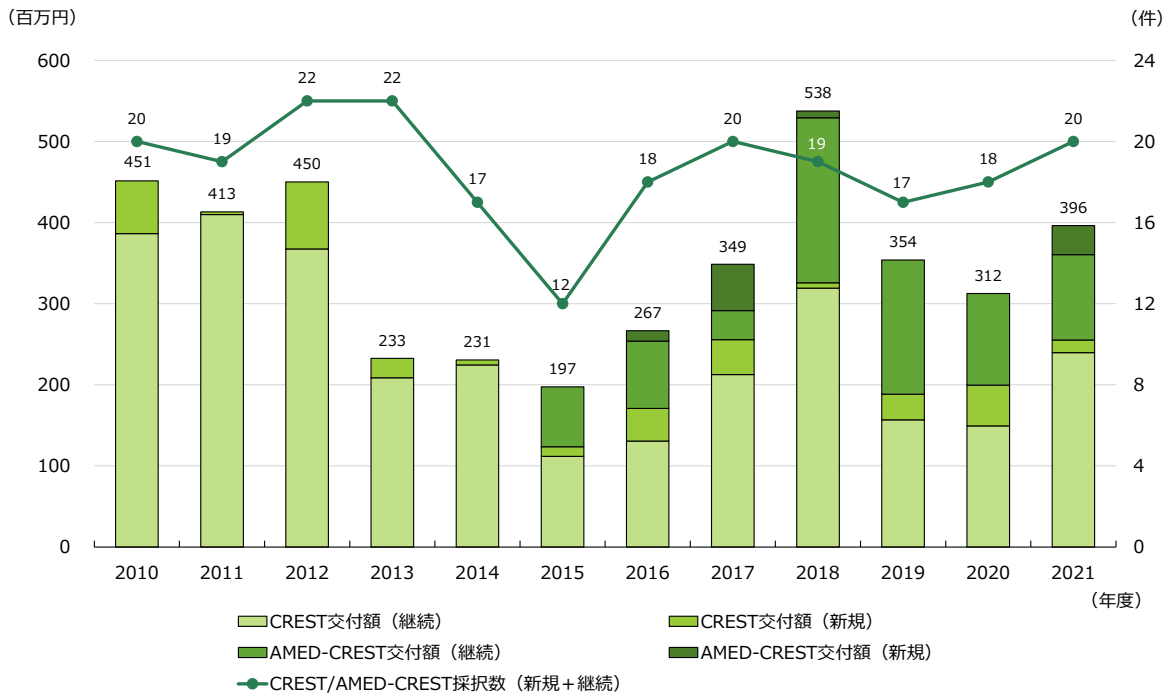
出典：文部科学省「令和4年度科学研究費助成事業の配分について」

※2018年度から2022年度科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(A)」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的研究」（特設審査領域を除く）、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金（国際先導研究及び国際共同研究強化(B)）」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

13. 研究プログラムの採択状況

13-1

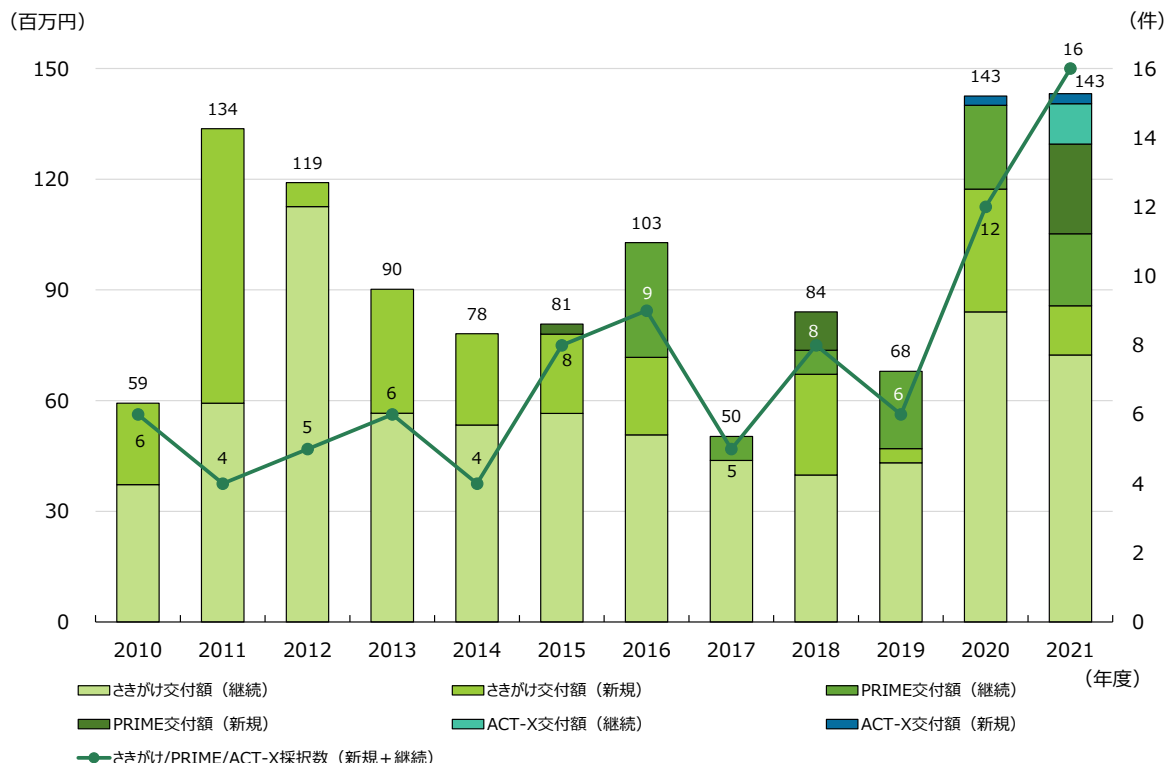
戦略的創造研究推進事業「CREST」、 革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。
 ※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

13-2

戦略的創造研究推進事業「さきがけ」、 革新的先端研究開発支援事業「PRIME」、 戦略的創造研究推進事業「ACT-X」



※2014年度以前のさきがけには、AMED設立に伴い、2015年度以降PRIMEへ承継された課題を含む。

14. 研究業績に関する主な受賞

14-2 若手教員による受賞状況

2022年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（受賞時）	職名（受賞時）
【日本学術振興会賞】	野中 哲士	2017年	人間発達環境学研究科	准教授
【科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞】	佐藤 隆太	2015年	工学研究科	准教授
	倉重 佑輝	2016年	システム情報学研究科	准教授
	末次 健司	2018年	理学研究科	特命講師
	日出間 るり	2018年	工学研究科	助教
【科学技術・学術政策研究所 科学技術への顕著な貢献 （ナイスステップな研究者）】	末次 健司	2016年	理学研究科	特命講師
	源 利文	2016年	人間発達環境学研究科	特命助教
	西田 敬二	2017年	科学技術イノベーション研究科	教授

14-3 神戸大学出身者による受賞状況

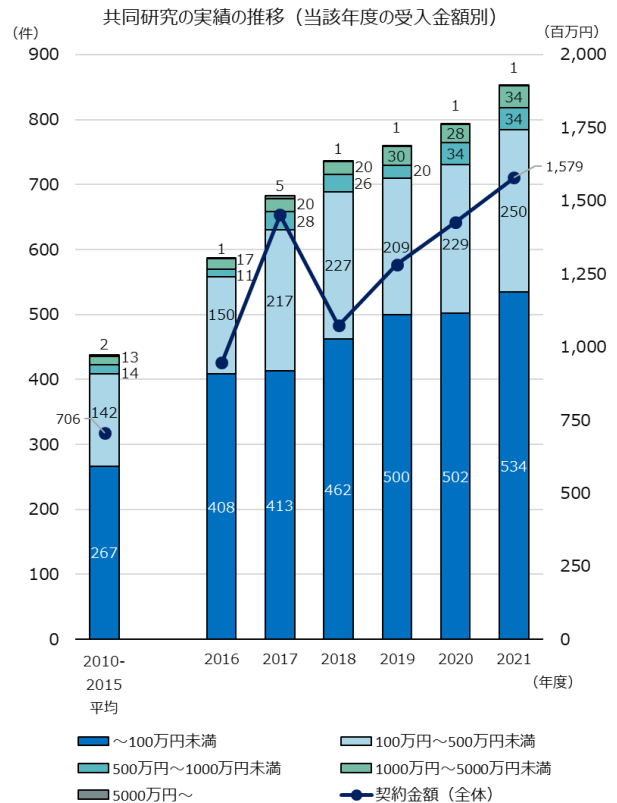
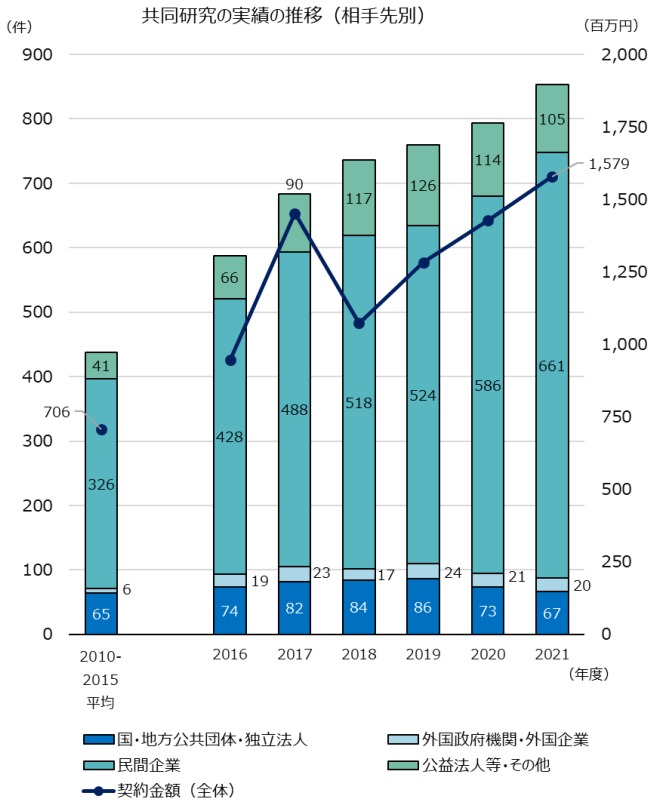
2022年7月現在

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
岩井 誠三	【紫綬褒章】	-	1989年	兵庫県立医科大学医学部卒 (神戸大学医学部の前身)
江崎 玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	1973年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 (神戸大学附属中等教育学校の前身)
	【文化勲章】	-	1974年	
	【日本国際賞】	-	1998年	
河合 隼雄	【朝日賞】	-	1997年	神戸工業専門学校卒 (神戸大学工学部の前身)
佐川 真人	【朝日賞】	-	1990年	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
	【日本国際賞】	-	2012年	
	【エリザベス女王工学賞】	-	2022年	
清野 進	【紫綬褒章】	-	2011年	神戸大学医学部卒
	【日本学士院賞】	-	2018年	
高井 義美	【紫綬褒章】	-	2003年	神戸大学医学部卒 神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
	【武田医学賞】	-	2014年	
野依 良治	【ノーベル賞】	化学賞	2001年	兵庫県師範学校男子部附属小学校卒 (神戸大学附属小学校の前身)
	【文化勲章】	-	2000年	
	【ウルフ賞】	化学部門	2001年	
	【朝日賞】	-	1992年	
山中 伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	2012年	神戸大学医学部卒
	【文化勲章】	-	2012年	
	【ウルフ賞】	医学部門	2011年	
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	2009年	
	【ガードナー国際賞】	-	2009年	
	【ミレニアム技術賞】	-	2012年	
	【京都賞】	先端技術部門	2010年	
	【武田医学賞】	-	2008年	
	【朝日賞】	-	2007年	
	【恩賜賞・日本学士院賞】	-	2010年	
【日本学士院会員】	-	2010年		
脇田 晴子	【文化勲章】	-	2010年	神戸大学文学部卒

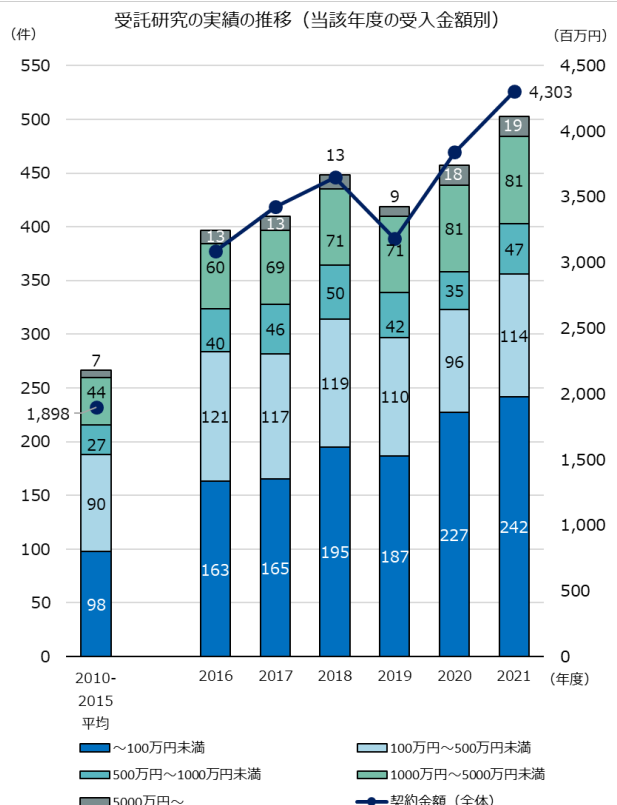
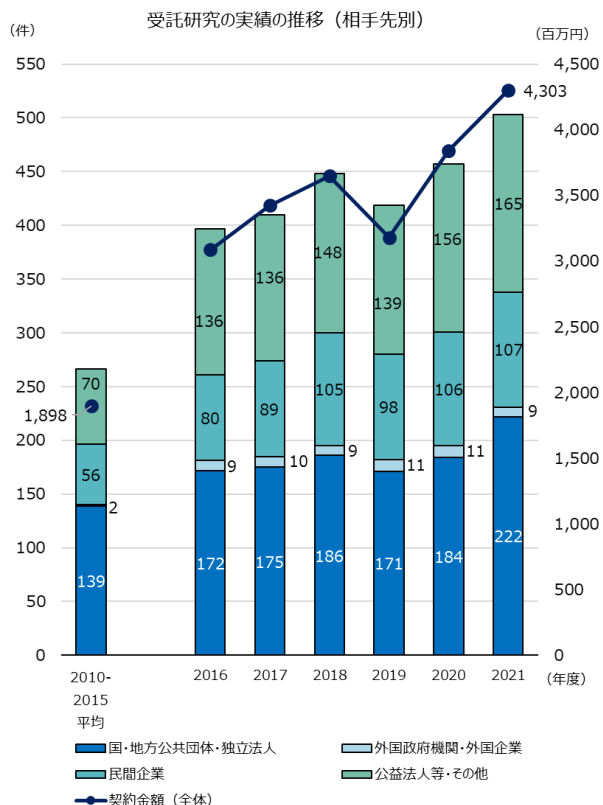
15. 産学官連携状況

15-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数は順調に増加傾向で推移しており、特に、民間企業との件数を中心に増加している。
- 共同研究の契約金額は増加傾向が続いており、2021年度には、特に実績の高かった2017年度の契約金額を上回った。

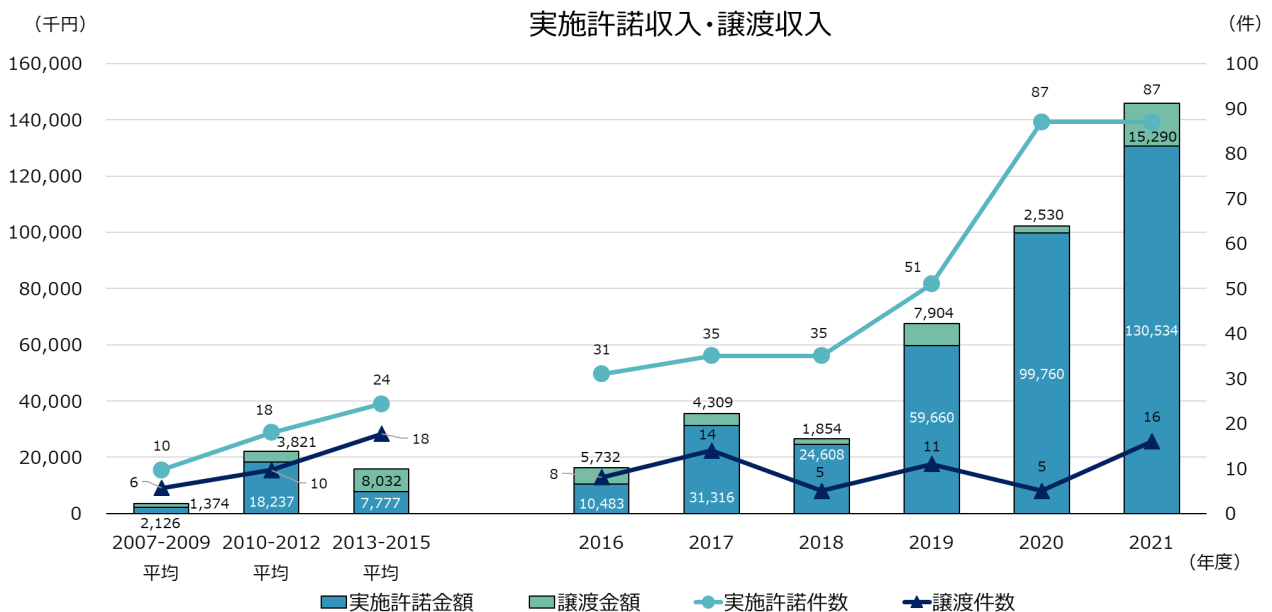
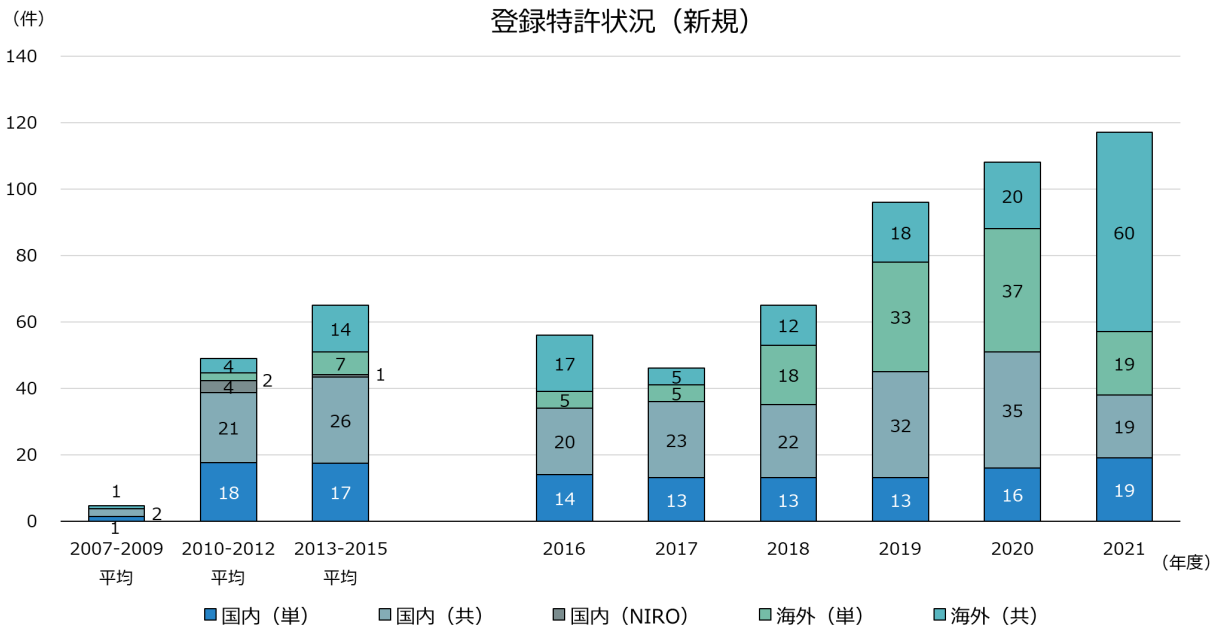
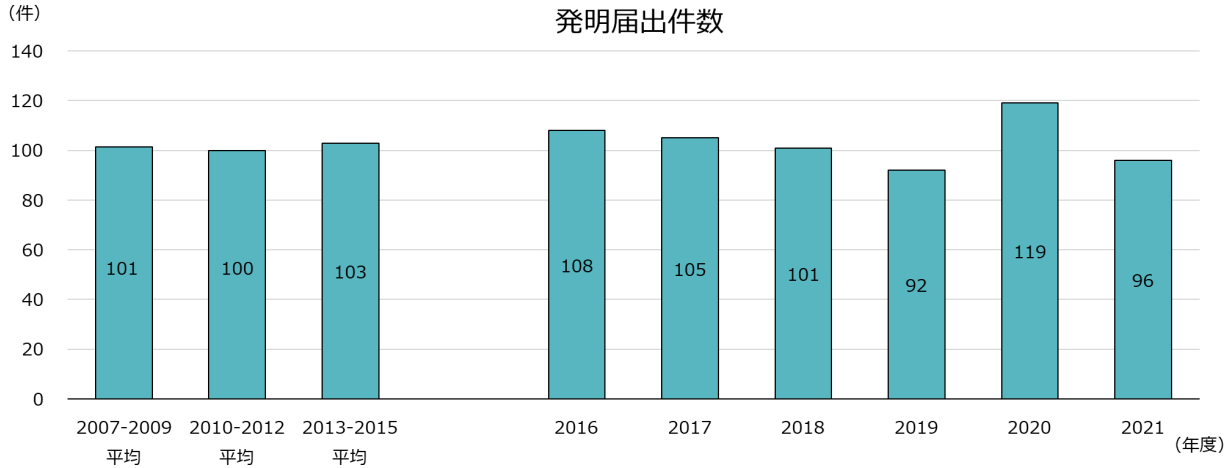


- 受託研究の件数、受入金額は2019年度に一旦減少したが、2020年度以降、再び増加傾向にある。



15-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数は、過去15年間、100件程度/年を安定的に推移している。
- 登録特許は、法人化以降、2011年度まで海外の登録を中心に急増し、その後は50～70件程度/年を安定的に推移していたが、2019年度以降は増加傾向にあり、2021年度には117件を記録した。
- 2021年度は、実施許諾金額及び譲渡金額が大幅に増加した。

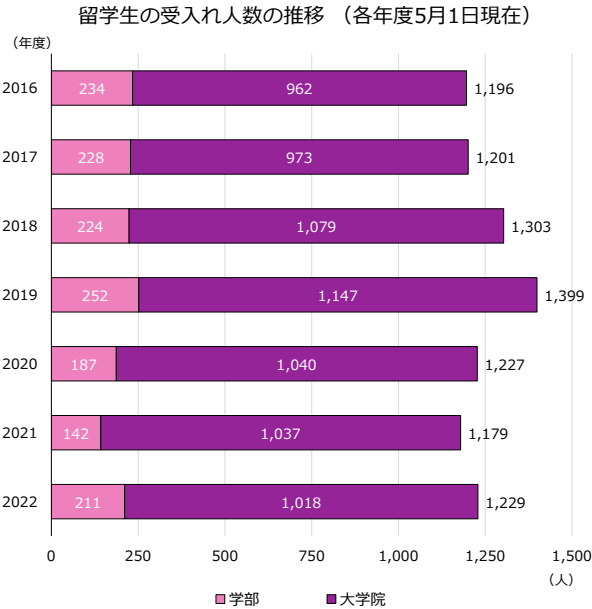


19. 留学

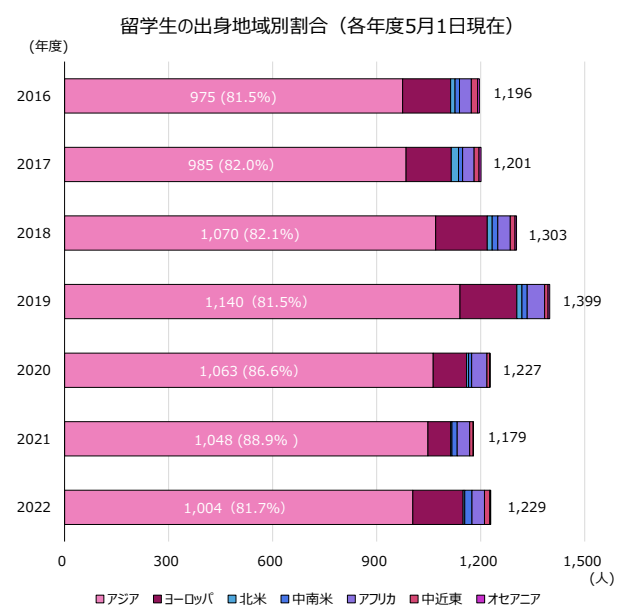
19-1,2 外国人留学生受入れ状況

○ 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の受入れが減少したが、2022年度については学部生の受入れが2021年度より増加した。

◆在籍段階別◆



◆地域別◆

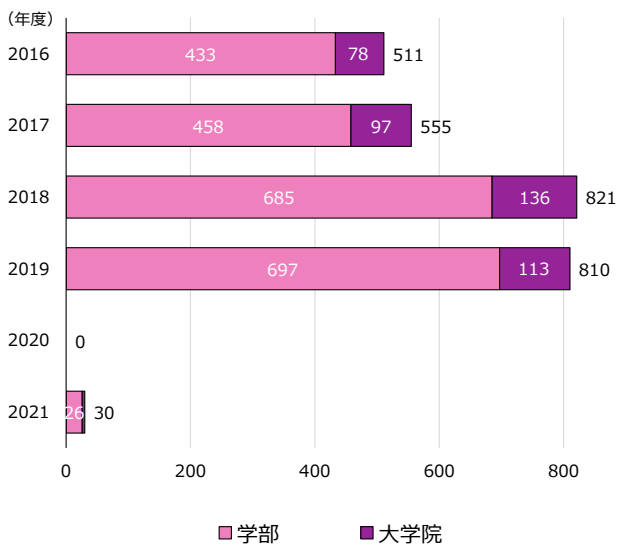


※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

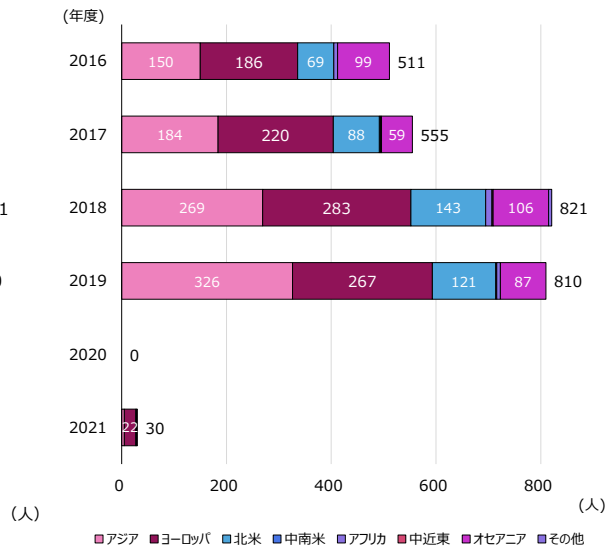
19-5,6 学生の海外派遣状況

- 本学では学生の海外留学を支援するため、2018年度にグローバル教育管理システムを導入したことで派遣数が大幅に伸びたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により海外派遣が行われていない。
- 学生の海外派遣数について、その地域別割合を見ると、神戸大学は相対的にヨーロッパへの派遣比率が高い。EUの中心地であるブリュッセルにオフィスを構え、ヨーロッパ諸国との国際連携活動を展開している本学の特徴と言える。

◆在籍段階別◆



◆地域別◆

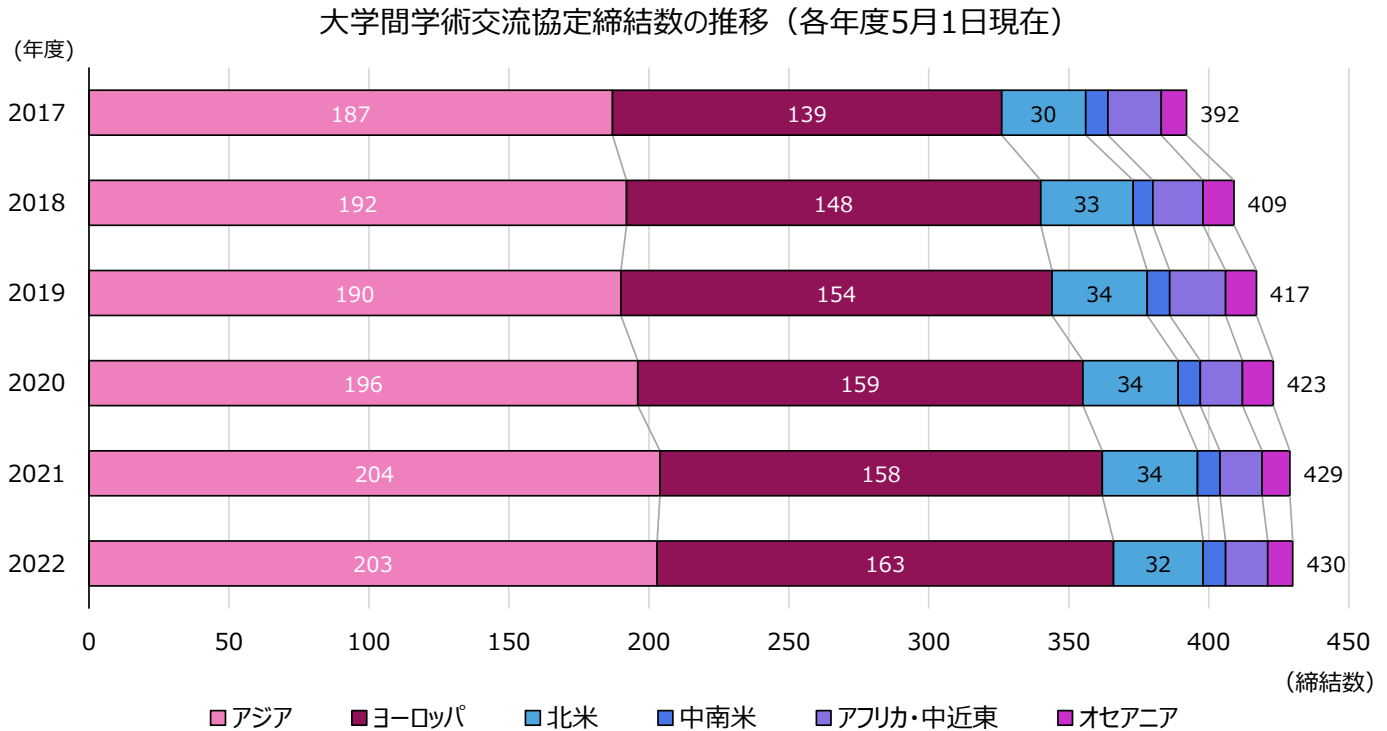


※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数。
※単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

20. 海外大学との交流状況

20-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア及びヨーロッパを中心に増加傾向にある。

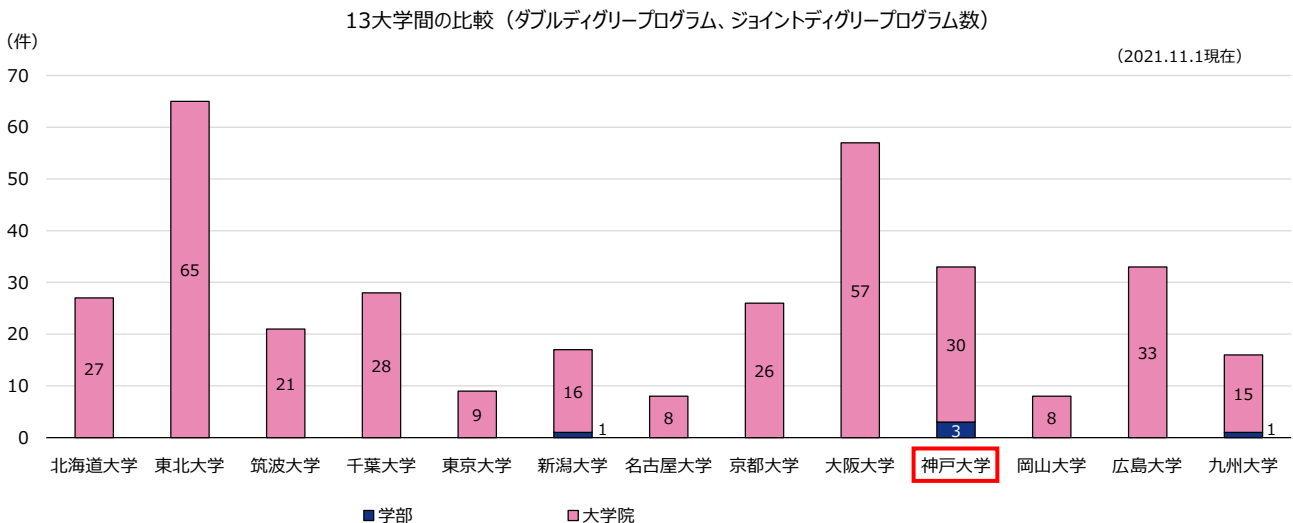


ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム

20-4

－大規模13大学間の比較－

○ 国立大学で学部入学定員の上位13大学のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると3位であった。

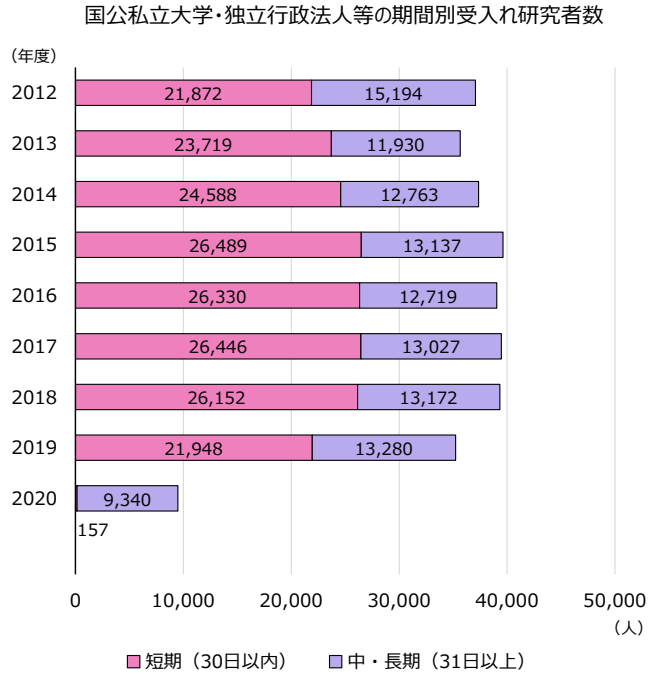
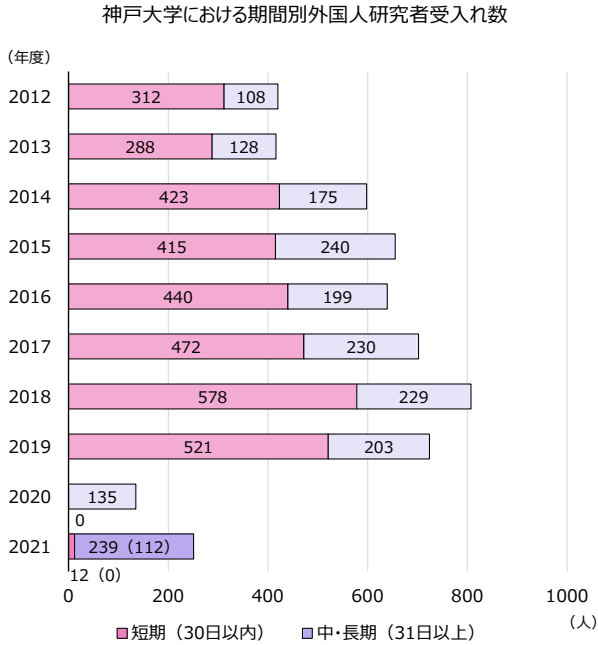


出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」

21. 研究者等交流状況

21-1 外国人研究者受入れ数の推移

- 本学における外国人研究者受入れ数については、2013年度までは毎年400～450名程度を推移しており、2014年度以降は600～800名程度となっていたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期受入れ数、中・長期受入れ数ともに大幅に減少した。

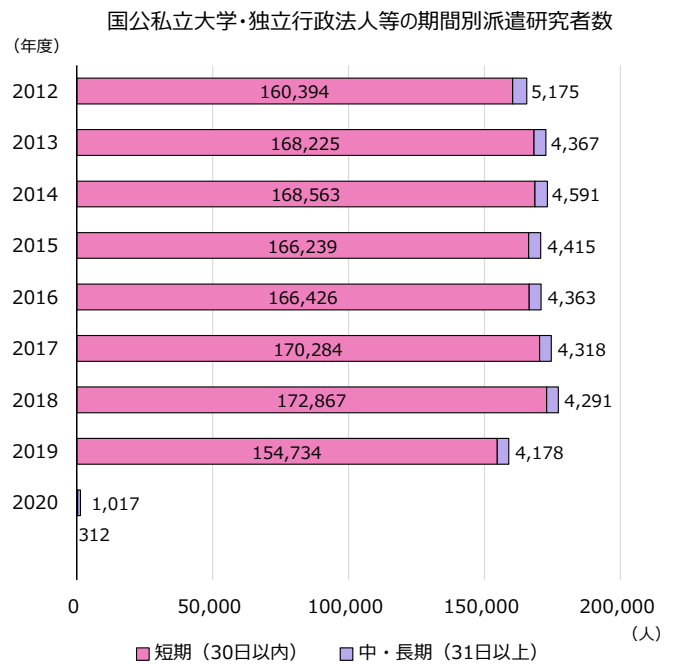
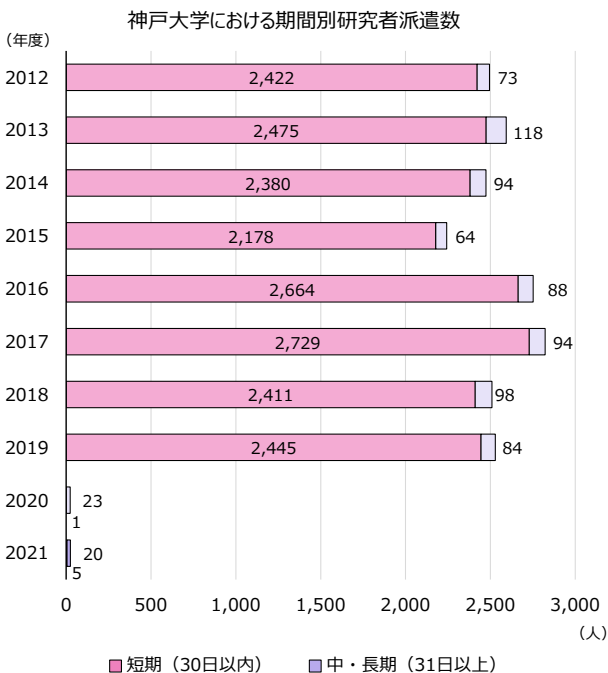


2020年度までは学生を除いた数値、2021年度は一部の学生(※)を含んだ数値(括弧内の数字は学生の内数を示す)。
 ※雇用契約を締結し、職務を与え研究に従事している博士課程在籍学生。

出典(右)：文部科学省「国際研究交流の概況」

21-2 研究者海外派遣数の推移

- 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
- 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、近年は2,500人台で推移していたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期派遣数及び中・長期派遣数ともに大幅に減少した。



出典(右)：文部科学省「国際研究交流の概況」

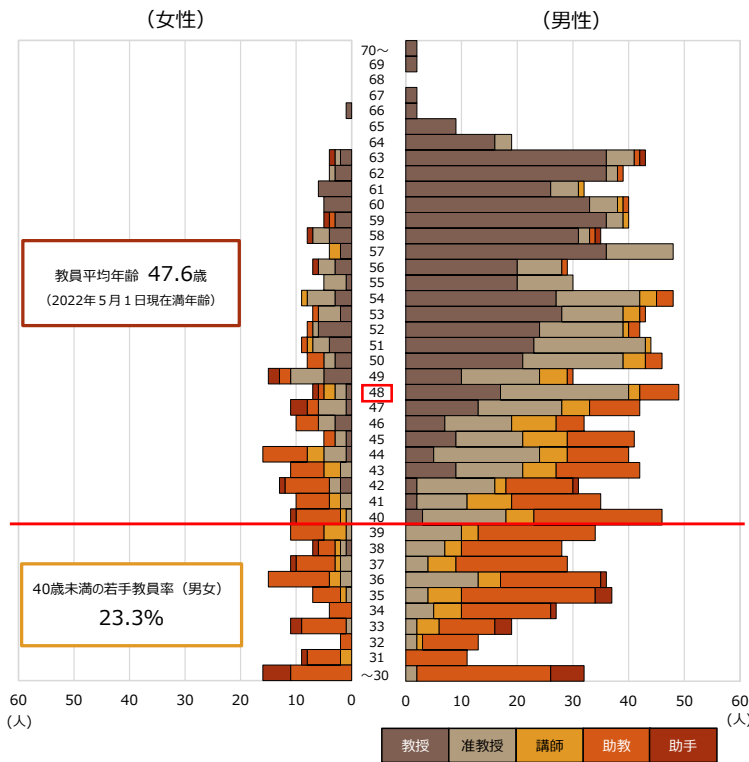
27. 教員

27-2 若手教員・外国人教員・女性教員等の推移等

- 教員の平均年齢は、近年上昇傾向にあり、2010年度から開始した定年延長の影響が表れていると言える。40歳未満の若手教員率は、2020年度以降上昇傾向にある。
- 外国人教員については、2022年度は人数、割合ともに過去最高の数値となっている。
- 女性教員については、2018年度に割合が減少したものの、その後は増加傾向にある。

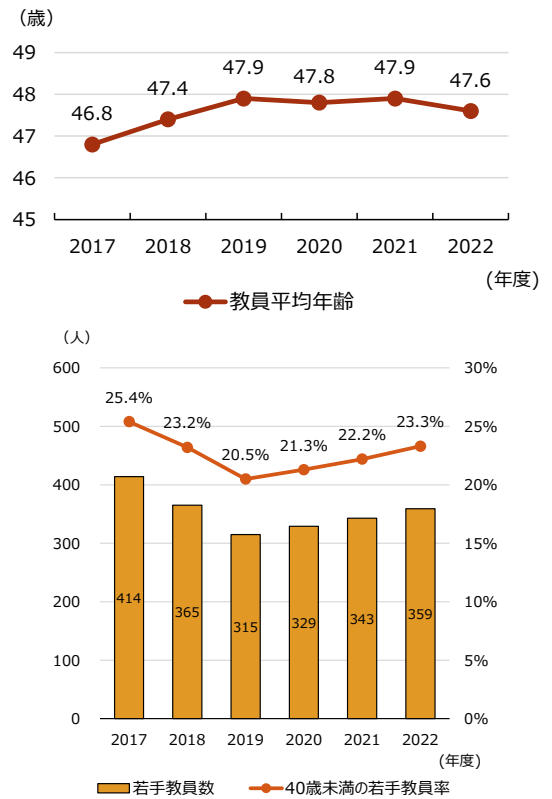
◆男女別・年齢別・職種別教員数◆ (神戸大学)

2022年5月1日現在

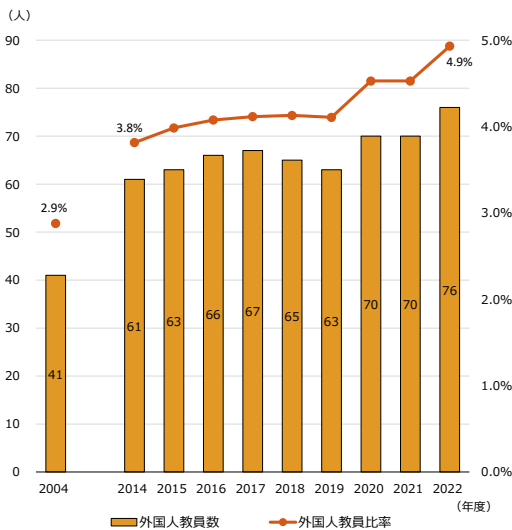


◆教員の平均年齢と若手教員数の推移◆ (神戸大学)

各年度5月1日現在

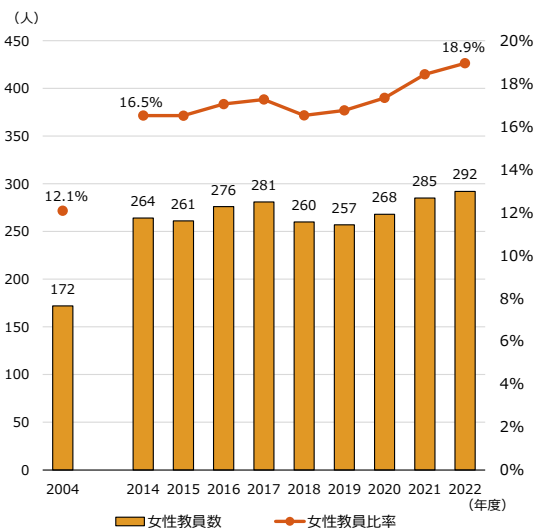


◆外国人教員数・外国人教員比率の推移◆ (神戸大学)



※2022年5月1日現在の外国人教員の国籍は、中華人民共和国、アメリカ合衆国、大韓民国、フランス及びドイツ連邦共和国等26の国と地域となっている。

◆女性教員数・女性教員比率の推移◆ (神戸大学)



※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者を含む。

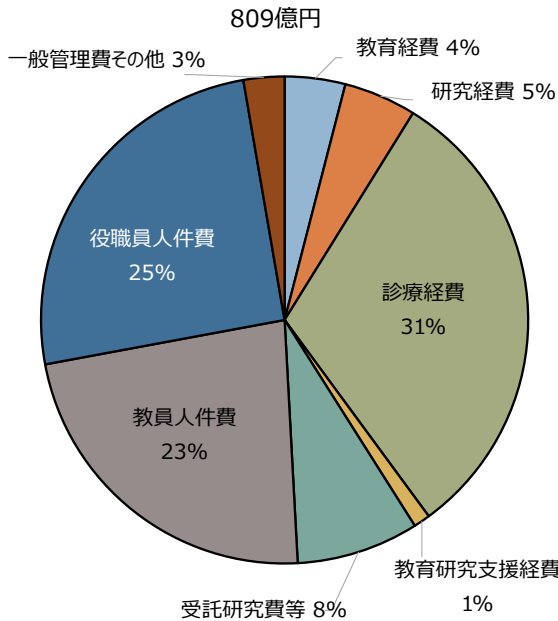
29. 財務

29-2 損益計算書の概要

○ 2004年度と比較すると、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費や職員人件費の規模も大きく増加している。

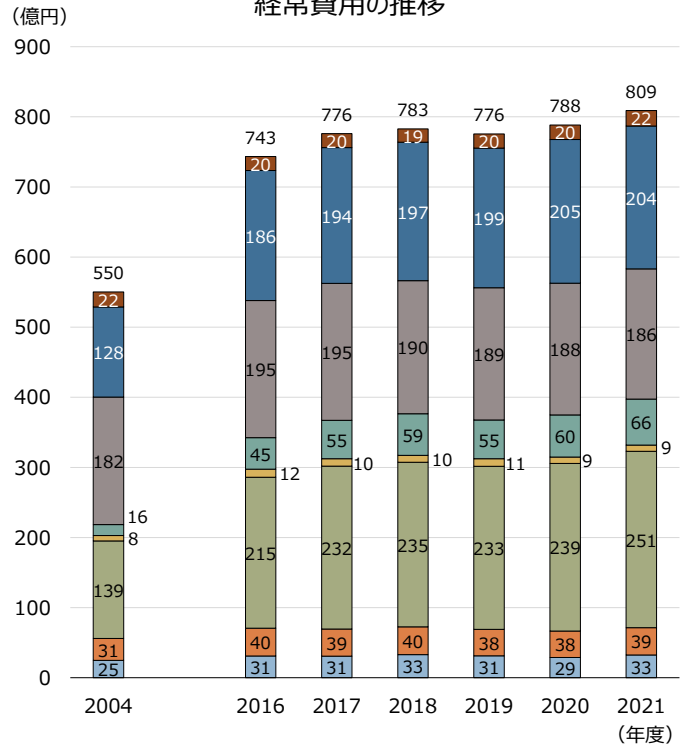


2021年度 経常費用の内訳



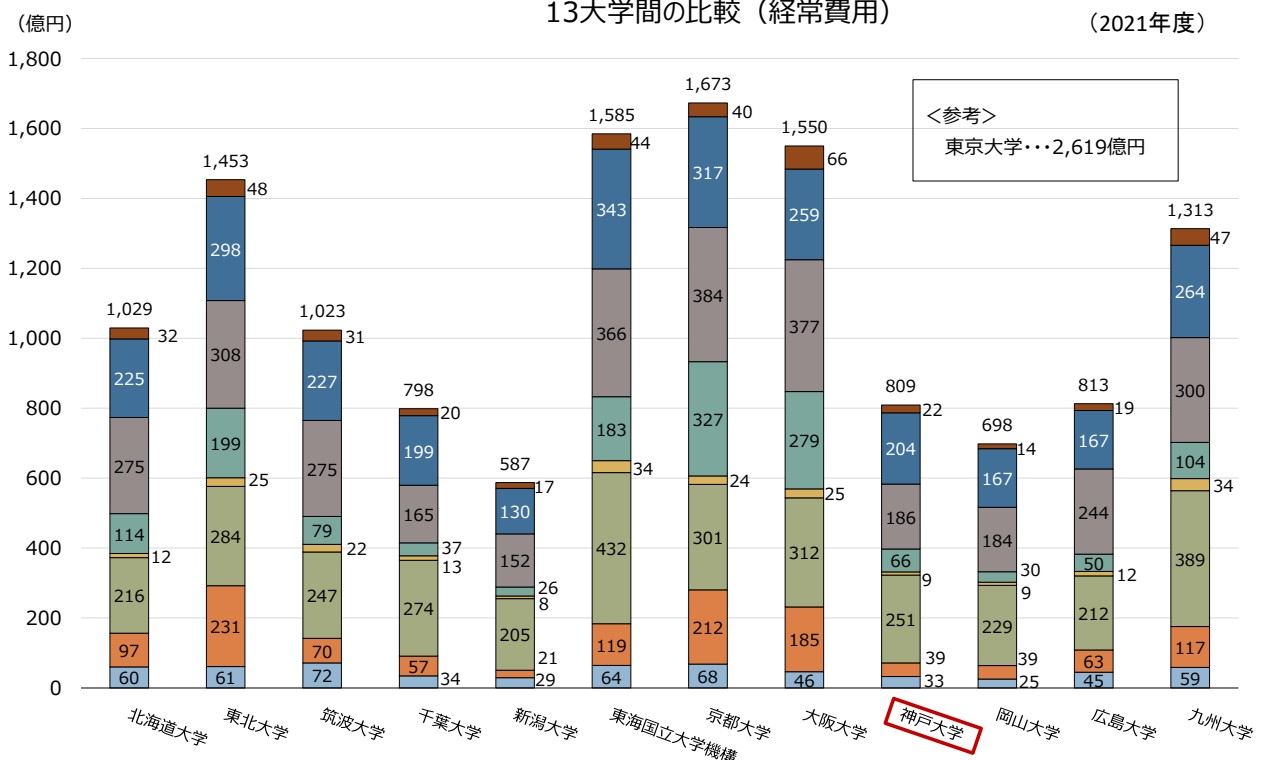
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

経常費用の推移

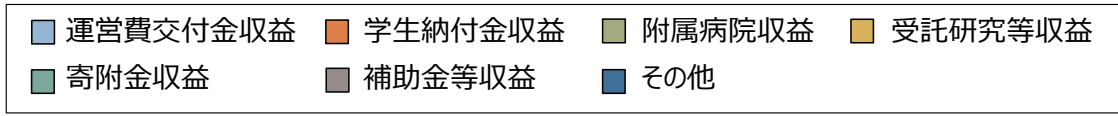


13大学間の比較 (経常費用)

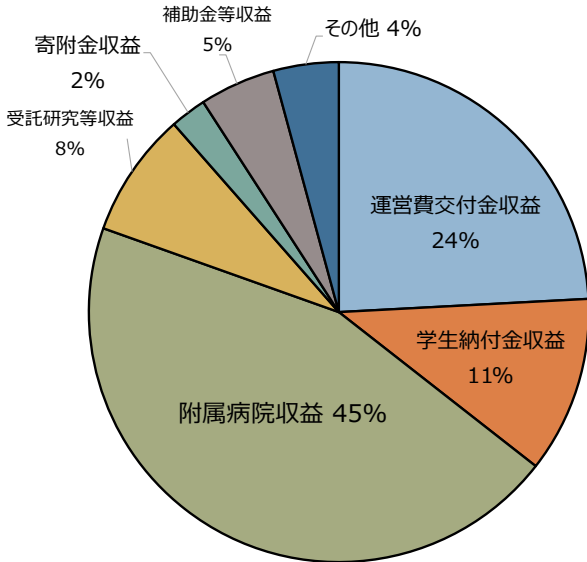
(2021年度)



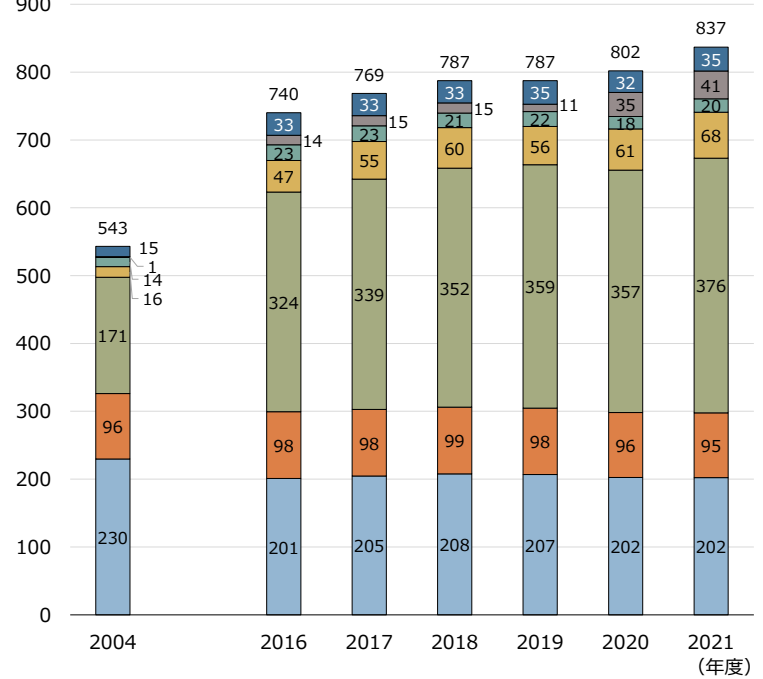
○ 附属病院収益や受託研究等収益が増加していることに伴い、経常収益の規模は2004年度に比して1.5倍以上に増加している。



2021年度 経常収益の内訳
837億円



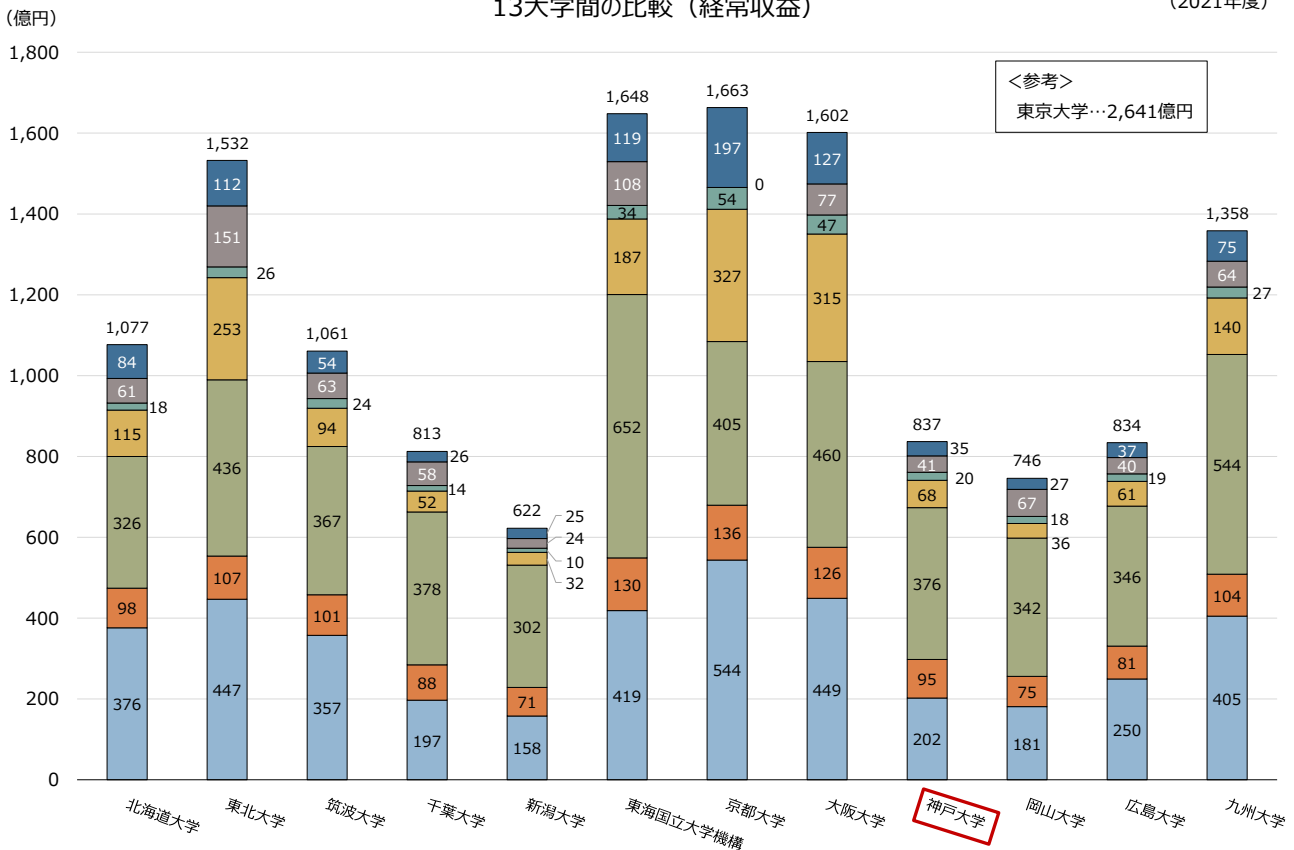
(億円) 経常収益の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

13大学間の比較 (経常収益)

(2021年度)





神戸大学企画部企画課

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: (078) 803-5020